JVC

3D 液晶マルチフォーマットモニター

DT-3D24G1

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(3〜5ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

※JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

LCT2664-001A-H

円偏光方式によるチラツキのない3D映像表示

- サイド･バイ･サイド方式、ライン･バイ･ライン方式対応で、チラツキのない3D映像を実現

左右の映像を3D表示にする3Dミキサー搭載

- ステレオカメラリグの映像をミックスして3D映像に変換

様々な機能で撮影現場を強力にサポート

- **カメラアシストメニュー:** 7つのメニューで様々な撮影状況に対応
- **3Dカーソル:** 左右映像の両目視差をピクセル/パーセント表示する「**カーソルモード**」と、グリッドラインで視差を確認する「**グリッドモード**」で、カメラ設定をサポート

⚠ 3D視聴時の注意点を12ページに記載しています。3D視聴をされるときは、必ず12ページの「3D視聴時の注意点」をお読みのうえ正しくお使いください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）..........3
使用上のご注意..........5
設置..........6
接続..........7
基本操作..........8

3D について..........12
- 3D 基本原理 12
- 対応 3D フォーマット 12
- 3D 視聴時の注意点 12

3D 映像を見る..........13
- 既存の3D 映像を入力する場合 13
- 2 台のカメラの映像を入力する場合 13

カメラアシストメニューの設定..........14
その他 3D 関連機能..........16
- SCOPE ボタン / ランプ 16
- 3D CURSOR ボタン / ランプ 16

メニューの設定..........18
- メインメニュー 19
- セットアップメニュー 23

外部制御..........26
困ったときは..........30
- 自己診断表示について 31

仕様..........32
- 対応信号フォーマット 33
- 外形寸法図 34

保証とアフターサービス..........36

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意 「人が軽傷を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
一般的注意 / 感電注意 / ケガに注意 / 手を挟まれないよう注意	禁止 / 分解禁止 / ぬれ手禁止 / 水場での使用禁止	プラグをコンセントから抜く / アース線をつなぐ

警告

表示された電源電圧(AC 100 V または DC 24 V（電圧範囲:DC 23.3 V ～ DC 25.5 V))以外で使用しない。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない。

禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。

感電注意

電源コードを傷つけない。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

禁止

本機の裏ぶた、カバー、キャビネットをはずしたり改造したりしない。

分解禁止

通気孔をふさがない。

- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまの状態で使用しない

禁止

内部に物を入れない。

感電の原因となります。特にお子様には十分注意してください。

禁止

本機の上に水の入ったものを置かない。

禁止

不安定な場所に置かない。

禁止

風呂場などの水のある場所で使わない。

水場での使用禁止

動作使用条件(温度、湿度)に注意して設置する。

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。(☞32ページ「動作使用条件」)本機は熱を帯びる構造になっています。取り扱いには十分気をつけてください。

一般的注意

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

この商品は、放送局などの限定された環境で、専任者により取り扱われることを前提としています。専門知識を持ったかたが操作してください。

次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入った。
- 落下などにより破損した。
- 電源コードが傷んだ。

→ **電源を切る。** →

電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

⚠注意

電源プラグはコードの部分を持って抜かない。

禁止

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない。

禁止

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む。

一般的注意

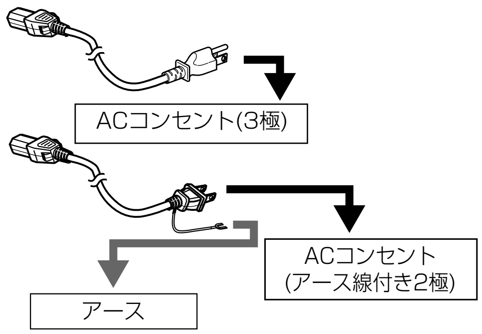
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

ぬれ手禁止

安全アースを接続する。

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。

アース線をつなぐ



- **ACコンセントが3極の場合**
  付属の電源コード(3極)を接続すると、安全アースも接続されます。
- **ACコンセントが2極の場合**
  付属の電源コード(アース線付き2極)のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外してから行なってください。

付属の電源コード以外は使用しない。

禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない。

禁止

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

プラグをコンセントから抜く

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす。

プラグをコンセントから抜く

電源コードを抜くときは、壁側のコンセントから先に抜く。

プラグをコンセントから抜く

AC電源の入/切について

本機は背面のAC電源スイッチでAC電源を入/切します。背面のAC電源スイッチを入/切できないところに設置した場合は、電源プラグを抜き差ししてAC電源を入/切してください。そのとき、本機をできるだけコンセントの近くに設置し、電源プラグを抜き差しするのに十分な空間を確保してください。確保できないときは、簡単にAC電源を入/切できる遮断装置を屋内の配線に設置してください。

プラグをコンセントから抜く

一般的注意

次のような場所に置かない。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 直射日光や強い光の当たるところ

禁止

本機の上に重い物を置かない。

禁止

本機の上に乗らない、ぶら下がらない。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない(ものを当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない。

禁止

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する。

一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。

一般的注意

⚠注意

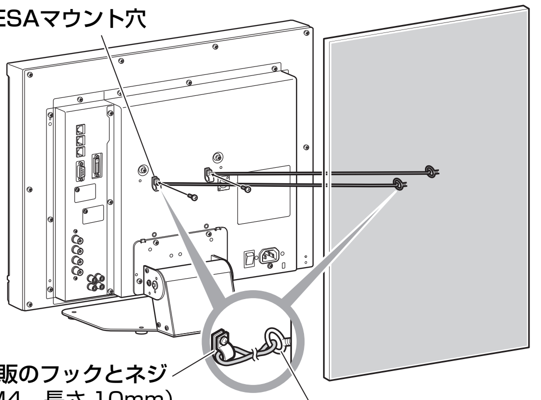
スタンドに設置するときは、転倒・落下防止の処置をする。

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。
スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。

一般的注意

参考例：転倒・落下防止のために
本機をひもで壁に固定することで、転倒・落下を防止することができます。

固定のしかた
本機背面にあるVESAマウント穴のうち上側の2個に、市販のフックとネジ（M4、長さ10mm）を取り付けます。取り付けたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。



転倒・落下防止処置を行う場合、壁や柱の強度によっては、その効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止処置は、けがなどの危害の軽減を意図するものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

使用上のご注意

液晶パネルおよびバックライトは、有寿命部品です。液晶パネルの基本的な特性により、残像（焼きつき）や表示ムラが発生することがあります。画像を時々切り換えたり、省電力（パワーセーブ）機能を使う、こまめに電源をオフにするなどして、液晶パネルへの負荷を軽減させることをおすすめします。液晶パネルの経時による劣化は、有償修理とさせていただきます。

長時間のご使用について

本機を長時間連続で使用される場合は、電力消費および機器の負担を軽減するために、メインメニュー「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC ACTION」を「P.SAVE」に設定することをおすすめします。(☞22ページ)

高温でのご使用について

高温の場所で使用しないでください。パネルや本機の部品が故障することがあります。また、本機の内部には温度センサーがあります。通常使用範囲以上の温度になると、「TEMP. OVER」と表示されます。さらに温度が上がると電源が自動的に切れます。このような場合は、一度温度の低い場所で冷ましてください。

お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。
- のりやテープなどを張らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- 表面の反射防止処理に影響があるためアルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤や中性洗剤、水でふかない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。

通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布でふき取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

メガネ

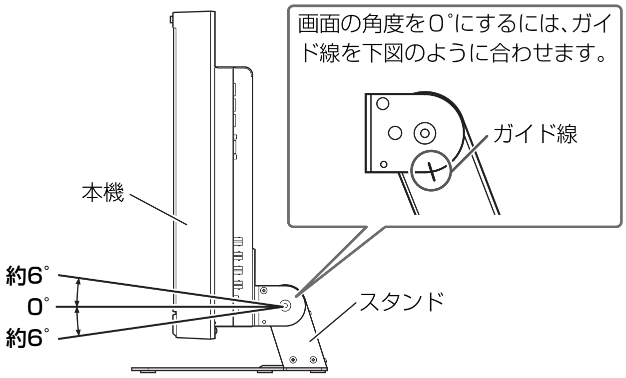
メガネの汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶきを行なってください。

設置

- 本機に肘をかけたり、寄りかかったりしないでください。
- 設置するときに、液晶画面に触れないでください。
- 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

● 設置方法 1

下図の範囲で画面の角度を調節できます。

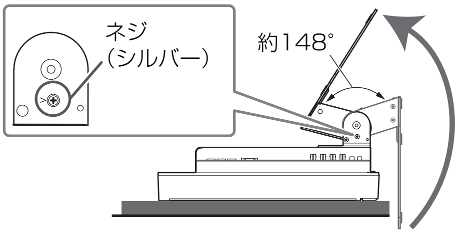


- 画面を傾けるときに、モニター本体とスタンドの間に指をはさまないように注意してください。
- スタンドが低位置の場合は、下方向への角度調節はできません。

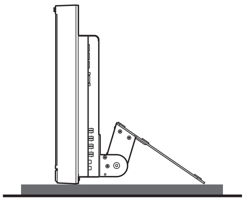
● 設置方法 2

スタンドが高位置の場合は、下図のように置くこともできます。

1 スタンドの側面から下図のネジをはずし、スタンドを約148°起こします。



2 ネジを再度取り付けてから、下図のように設置します。



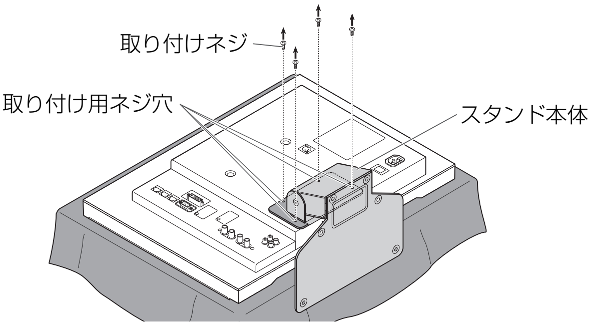
- 設置方法１　に戻す場合は、スタンドの側面からネジをはずし、ガイド線を合わせて、ネジを再度取り付けてください。

ご注意

- スタンドを起こすときは…
  - 液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行なってください。
  - 可動部に指をはさまないように注意してください。
- 転倒の原因となりますので、必ず止まるまで（約148°）起こし、上図のように置いてください。
- 設置面に直接金属が接触しますので、傷つき防止のためにマットなどを敷いてから置いてください。
- スタンドが低位置の場合は、スタンドを起こさないでください。

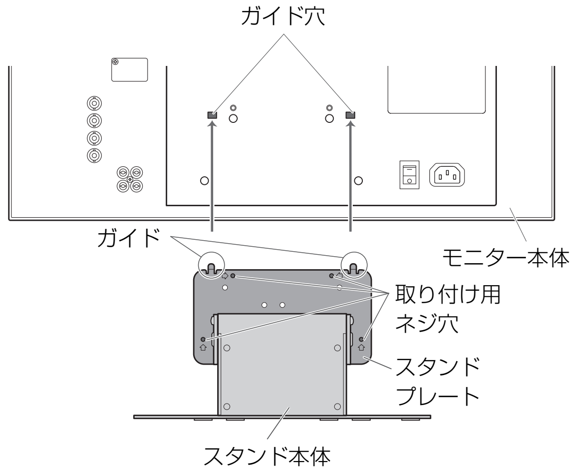
● スタンドの取りはずし

液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行なってください。



● スタンドの取り付け

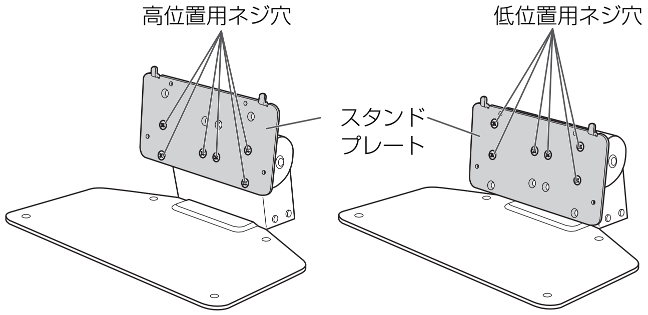
スタンドを取り付けるときは、必ず事前にスタンドプレートのガイドをモニター本体のガイド穴に奥まで入れて、スタンドの位置合わせをします。その後、取り付けネジで固定してください。



● スタンドの高さ調節

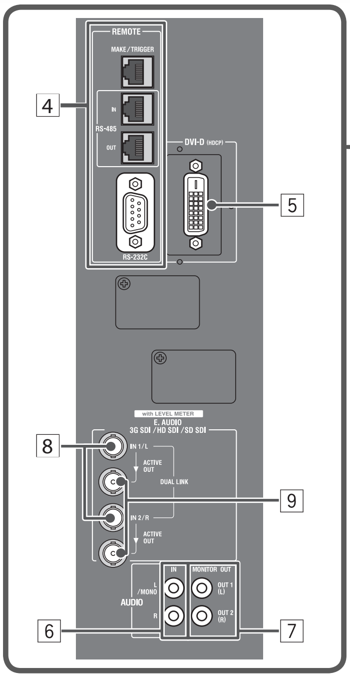
スタンドの高さを変えるときは、モニター本体からスタンドを取りはずします。高位置用または低位置用のネジ穴のいずれかを選び、スタンドプレートの取り付け位置を変えてください。

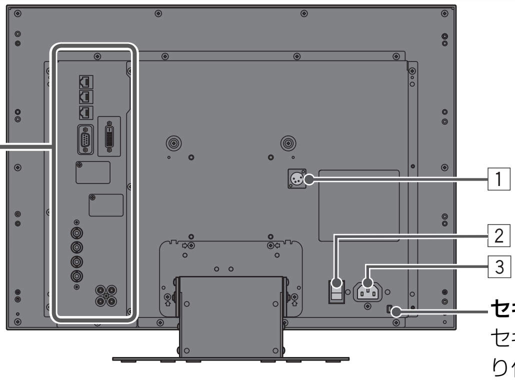
<高位置>　　<低位置>



接続

背面





セキュリティスロット
セキュリティワイヤーを取り付けるためのスロット。

接続するときのご注意

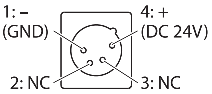
- 本機と接続する機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと、映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

1 DC IN 24V端子

DC 24V電源(電圧範囲:DC 23.3V ~ DC 25.5V)の入力端子。

DC 24V電源(電圧範囲:DC 23.3V ~ DC 25.5V)使用時は、DC IN 24V端子のピン番号と信号を確認し、極性を正しくしてください。逆に接続すると、火災やけがの原因となることがあります。

- AC電源とDC 24V電源を両方接続しているときは、AC電源が優先されます。AC電源スイッチをオフにするなどしてAC電源が切れると、DC 24V電源に自動的に切り換わります。
- LPS(Limited power sources: 制限動力源)機能をもったDC電源を使用してください。
- 4.8Aを供給できるDC 24V電源を使用してください。



2 AC電源スイッチ

AC電源をオン/オフ。

- AC電源スイッチをオンにしても、⏻ / | ボタン(☞9ページ 21)をオンにしないとモニターは動作しません。

3 AC IN端子

AC電源の入力端子。付属の電源コード(3極または2極)を接続します。

- 付属の電源コードホルダーを取り付けて、プラグが抜けないように固定できます。(☞下記)
- 4ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する)」をよくご覧ください。

ご注意: すべての機器の接続が終わってから、電源プラグを接続してください。

4 REMOTE端子

本機を外部から制御するための端子。(☞26ページ「外部制御」)

5 DVI-D (HDCP)端子

HDCP対応のDVI-D信号の入力端子。

- 映像が正しく表示されないときは、セットアップメニューの「DVI INPUT SEL.」の設定を変えてください。(☞25ページ)

6 AUDIO(IN)端子(ピンジャック)

アナログ音声信号の入力端子。

- SDIのアナログ音声信号の場合は、この端子に入力します。
  EMBEDDED AUDIO信号が重畳したSDI信号が入力されている場合、アナログ音声信号は入力できません。

7 AUDIO MONITOR OUT(OUT 1(L)、OUT 2(R))端子(ピンジャック)

アナログ音声信号の出力端子。

- AUDIO (IN) 端子への入力信号またはE.AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI(IN 1/L または IN 2/R)端子に入力されたEMBEDDED AUDIO信号を出力します。
- モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード)(☞22ページ「NO SYNC ACTION」)のときのみ出力されます。
- EMBEDDED AUDIO信号は. . .
  - アナログ音声信号にデコードして出力されます。
  - SDI入力(SDI 1/L または SDI 2/R)が選ばれ、E.AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI 入力端子(IN 1/L または IN 2/R)にEMBEDDED AUDIO信号が入力されているときのみ出力されます。

8 E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI (IN 1/L、IN 2/R)端子(BNC)

3G SDI/HD SDI/SD SDI信号の入力端子。

- サンプリング周波数48 kHz、1～12チャンネルのEMBEDDED AUDIO信号にも対応します。
- DUAL LINK SDI入力のときは、SDI IN1/L端子とSDI IN 2/R端子を使用します。
- ステレオカメラリグでの撮影では、SDI IN 1/L端子にL映像、SDI IN 2/R端子にR映像を入力します。3G SDIレベルBデュアルストリームの場合はSDI IN 1/L端子に、3G SDIレベルB DUAL LINKマッピングの場合はSDI IN1/L端子とSDI IN 2/R端子に入力します。

9 E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI(ACTIVE OUT)端子(BNC)

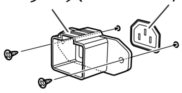
3G SDI/HD SDI/SD SDI信号の出力端子。

- SDI IN 1/L入力とSDI IN 2/R入力からの信号がリクロックされて出力されます。
- モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード)のときのみ出力されます。

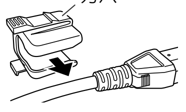
電源コードホルダー(付属品)の取り付けかた

電源コードが抜けるのを防ぐため、本機の背面にホルダーを取り付けます。 ホルダーはケースとカバーの2つで構成されています。

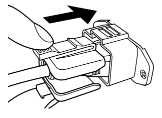
1 ケース AC IN端子



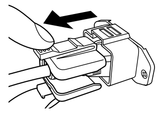
2 カバー



3



カバーをはずすときは...

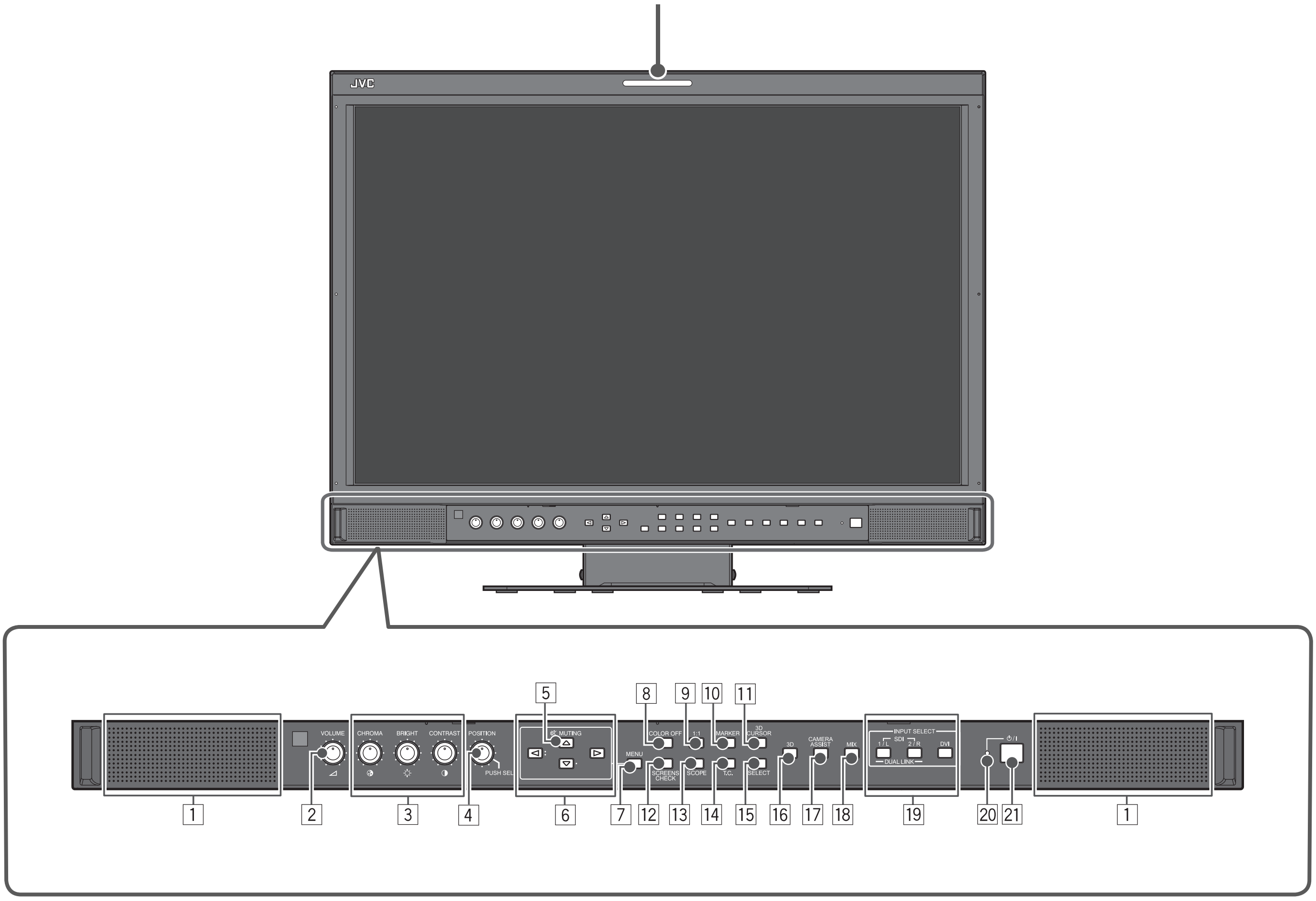


- 付属のネジ以外は使用しないでください。
- カバーをケースにはめこんでから、プラグが抜けないかどうかをご確認ください。

基本操作

正面

タリーランプ
MAKE/TRIGGER端子で点灯を制御。
- 点灯色は「GREEN」、「RED」のいずれかを選ぶことができます。
（☞23ページ「FUNCTION SETTING」の「TALLY SELECT」、26ページ「外部制御」）



- 選んでいる入力や信号フォーマットに対して機能しないボタンを押したときは、「NO EFFECT」と表示されます。
（機能しないときでも、ランプは点灯します）
- MAKE方式で外部制御している機能は、ボタンでは操作できません。（「REMOTE ON」と表示され、ランプも点灯しません）

[1] **スピーカー（ステレオ）**
AUDIO（MONITOR OUT）端子から出力される音声信号と同じ音声を出力。（☞7ページ [7] AUDIO MONITOR OUT(OUT 1(L)、OUT 2(R))端子）

[2] **VOLUME調節ノブ**
スピーカーの音量を調節。

[3] **映像調節ノブ**
CHROMA：　映像の色の濃さを調節。
BRIGHT：　映像の明るさを調節。
CONTRAST：映像のコントラストを調節。
● CHROMA調節は信号フォーマットによっては働きません。

[4] **POSITIONノブ/PUSH SEL. ボタン**
POSITIONノブ：　表示線の位置調節、およびR映像の位置調節。
以下の機能で使用します。
・3Dカーソル（☞16ページ）
・SPLIT（☞15ページ）
・LR SEQ.（☞15ページ）
・R SHIFT（☞15ページ）
・ANAGLYPH（☞15ページ）
・INDIVIDUAL（☞15ページ）
PUSH SEL. ボタン：　表示線の切り換え。
以下の機能で使用します。
・3Dカーソル（☞16ページ）
・SPLIT（☞15ページ）
● 表示中のラインやR映像を初期位置に戻すには、PUSH SEL. ボタンを３秒以上押し続けます。

5 **MUTINGボタン**

メニューが表示されていないときに、スピーカーの音を消音（ミュート）。

● 解除するには、もう一度押すか、VOLUME調節ノブを回します。

● メインメニューの「AUDIO SETTING」の「BALANCE」を変更しても解除されます。（☞21ページ）

6 **◁ / ▷ / △ / ▽ ボタン**

メニューが表示されているとき

項目を選択または調節。

（☞18ページ「メニューの操作」）

メニューが表示されていないとき

EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルを選択。

（☞10ページ 「音声チャンネルの選択」）

● ▽ ボタンを押しながら ◁ ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。（☞18ページ「メニューの操作」）

7 **MENUボタン**

メインメニューの表示/非表示。

（☞18ページ「メニューの操作」）

8 **COLOR OFFボタン/ランプ**

輝度信号のみの映像にする。

● RGB信号には働きません。

9 **1：1ボタン/ランプ**

入力信号の解像度と同じ解像度（等倍）で映像を表示。

● 入力信号によって、アスペクト比が変わることがあります。

10 **MARKERボタン/ランプ**

エリアマーカー/セーフティマーカーの表示/非表示。

● メインメニューの「MARKER」で設定します。（☞20ページ）

● 3DモードとMIXモードがともに「OFF」のときに働きます。

● 1:1表示のときは表示されません。

● エリアマーカーが表示できるのは16:9表示のときのみです。

11 **3D CURSORボタン/ランプ**

3Dモード中に両目視差を測定するカーソルの表示/非表示。

（☞16ページ）

● ボタンを押すごとに、表示モードが次のように切り換わります。

表示なし → カーソルモード → グリッドモード → 表示なし

12 **SCREENS CHECKボタン/ランプ**

R、G、B信号成分を単体で表示。

● RGB信号には働きません。

● ボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。

RGB(通常) → Rのみ → Gのみ → Bのみ → RGB(通常)

13 **SCOPEボタン/ランプ**

波形モニターとベクトルスコープの表示/非表示。

（☞22ページ「SCOPE SETTING」）

● ボタンを押すごとに、ウィンドウが次のように切り換わります。

・MIXモードが「OFF」または無効のとき

表示なし → 波形モニター → ベクトルスコープ → 表示なし

・MIXモードが「ON」のとき（☞16ページ）

表示なし → 並列波形モニター → 並列ベクトルスコープ → 差分波形モニター → 差分ベクトルスコープ → 表示なし

14 **T.C.ボタン/ランプ**

SDI信号に含まれている時間データ（タイムコード）の表示をオン/オフ。（☞10ページ「情報表示について」）

● タイムコードはセットアップメニューの「INFORMATION」で設定します。（☞24ページ）

15 **SELECTボタン**

項目の選択/切り換えに使用。

以下の項目/機能で使用します。

・3Dフォーマット（☞19ページ）

・3Dカーソル（☞16ページ）

・INDIVIDUAL（☞15ページ）

16 **3Dボタン/ランプ**

3Dモードのオン/オフ。

● 円偏光メガネでの3D視聴に合わせて映像を補正しています。

17 **CAMERA ASSISTボタン/ランプ**

カメラアシストメニューの表示/非表示。（☞14ページ）

● MIXモードが有効な映像が入力されているときのみ働きます。

18 **MIXボタン/ランプ**

MIXモードのオン/オフ。

● L映像とR映像をミックスしてサイド･バイ･サイド方式の映像に変換します。（☞13ページ）

19 **INPUT SELECTボタン/ランプ**

入力を選択。

SDI 1/L: E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI（IN 1/L）端子からの入力

SDI 2/R: E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI（IN 2/R）端子からの入力

DUAL LINK: E.AUDIO 3G SDI /HD SDI /SD SDI(IN 1/L、IN 2/R)端子からの入力

DVI: DVI-D（HDCP）端子からの入力

● 選んでいる入力のランプが点灯します。

● MIXモード中は、SDI 1/L と SDI 2/Rのランプが点灯します。（3G SDI レベルBデュアルストリーム入力では、SDI 1/Lのみ点灯します）

20 **電源ランプ**

消灯: 電源が完全に切れている状態

緑色: モニターがオン

オレンジ色: モニターがオフ（スタンバイ）または、 DC電源動作時に電源電圧が低下し、シャットダウンした状態

オレンジ色点滅: P.SAVE（省電力）モード（☞22ページ「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC ACTION」）

● オレンジ色点灯でDC電源シャットダウンの場合は、モニターをオンにすることができません。DCコネクターをはずしてDC電源を動作電圧内に設定してから、もう一度接続してください。

21 **⏻ / I ボタン**

モニターをオン/オフ（スタンバイ）。

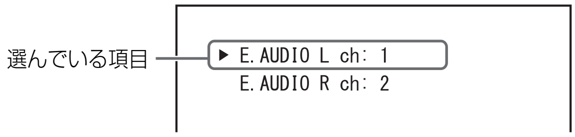
● 背面に本機のAC電源スイッチがあります。（☞ 7ページ 2）

音声チャンネルの選択

SDI入力で、EMBEDDED AUDIO信号が入力されているとき、スピーカー(L/R)とAUDIO MONITOR OUT(OUT1(L)、OUT(R))端子から出力する音声チャンネルを選びます。
- 音声チャンネルのグループを設定しておく必要があります。(☞21ページ「AUDIO SETTING」の「E.AUDIO GROUP」)
- SDI 1/LとSDI 2/Rのそれぞれの入力ごとに記憶されます。
- MIXモード中および DUAL LINK SDI入力のときは、SDI 1/Lとして動作します。

1 メニューを表示していないときに ◁ または ▷ ボタンを押す
音声チャンネル選択画面が表示されます。
- 音声チャンネル選択画面は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。

音声チャンネル選択画面



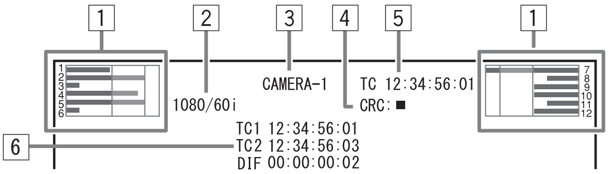
2 △▽ ボタンで左右(L ch/R ch)を選ぶ

3 ◁ ▷ ボタンで音声チャンネルを選ぶ
- ボタンを押すごとに、「E. AUDIO GROUP」の設定に従って音声チャンネルが切り換わります。(☞21ページ)

4 MENUボタンを押す
- 音声チャンネル選択画面が消えます。

情報表示について

入力に関して、以下の情報が表示されます。
- 各情報の表示/非表示は、メニューで設定します。 [5]、[6] のみ、T.C.ボタン(☞9ページ [14])で設定します。
- 情報の表示位置は、「INFORMATION」の「POSITION」(☞24ページ)で設定します。
- パソコン信号以外の信号が入力されているとき、下記の [1]、[2]、[3]、[4] のいずれかが表示されていると、映像は情報表示領域を避けて表示されます。ただし、以下の場合は映像と情報表示が重なります。
  - パネル解像度より高い解像度の信号を1:1表示しているとき
  - セットアップメニュー「FUNCTION SETTING」の「SD4:3 LARGE」が「ON」のとき(☞23ページ)



[1] **オーディオレベルメーター**
- 「LEVEL METER ch」を「LINE」または「DIVIDE」に設定するとEMBEDDED AUDIO信号の状態を確認することができます。
- 「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは表示されません。(☞21ページ「AUDIO SETTING」)

[2] **信号フォーマット**
- 「STATUS DISPLAY」が「ON」のとき表示されます。(☞24ページ「INFORMATION」)
- 表示内容については、「対応信号フォーマット」(☞33ページ)および「信号フォーマットについて」(☞11ページ)をご覧ください。

[3] **「CHARACTER SET.」で登録した入力映像ソース名**
- 「SOURCE ID」が「ON」または「AUTO」のとき表示されます。
- 「STATUS DISPLAY」が「OFF」または「AUTO」のときは、大きな文字で表示されます。(☞24ページ「INFORMATION」)

[4] **CRCエラー表示**
- 「CRC ERROR」が「ON」のとき表示されます。(☞24ページ「INFORMATION」)
- エラーが発生したときは、赤い四角が表示されます。

[5] **タイムコード**
- 入力信号にタイムコードが含まれていないときは、「TC −−:−−:−−:−−」と表示されます。(☞9ページ [14])

[6] **タイムコード(MIXモード中で3Dボタンが「OFF」、またはカメラアシストメニュー表示中)**

TC1:	SDI IN 1/L 入力信号のタイムコード
TC2:	SDI IN 2/R 入力信号のタイムコード
DIF:	TC1を基準としたときのTC2の差分

- カメラアシストメニュー「R SHIFT」のときは、[5] の表示位置にSDI IN 1/L 入力信号のタイムコードが表示されます。
- カメラアシストメニュー「ANAGLYPH」では表示されません。

ステータス表示について

現在ランプが点灯しているINPUT SELECTボタン(☞9ページ ⑲)を押すと、入力信号のステータスとMUTING(消音)の設定状態が約3秒間表示されます。

● ステータスの表示/非表示は、「INFORMATION」の「STATUS DISPLAY」で設定します。(☞24ページ)
●「STATUS DISPLAY」を「AUTO」または「ON」に設定すると、次の場合にもステータスが表示されます。
 - 入力を切り換えたとき
 - 現在選んでいる入力の信号の状態が変わったとき
 - モニターをオンにしたとき
●「STATUS DISPLAY」を「ON」に設定したときは、ステータスが表示されてから3秒後に、信号フォーマットのみ表示されます。

```
1080/59.94i ........................... 1
3G  A-2      SbS-HD-RL ................ 2
4:4:4  RGB  10bit ..................... 3
MUTING ON ............................. 4
FRAME SYNC. ........................... 5
```

1 信号フォーマット
● 表示内容については、33ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。

信号フォーマットについて
入力信号の種類や状態により、下記の内容が表示されます。
DVI入力で、HDCP対応の信号が入力されたとき
➡ 信号フォーマットの表示の一番後ろに「*」が付きます。
映像信号が入力されていないとき
➡「NO SYNC」と表示されます。
本機で対応していない映像信号が入力されたとき
➡「Out of range」と表示されます。
MIXモード中に、MIXの動作条件を満たさない信号が入力されたとき
➡「Unsupported」と表示されます。

2 DVI入力時の信号形式
☞25ページ「DVI INPUT SEL.」

DUAL LINK設定表示/3G SDI信号情報表示
- SDI 入力のときに、メインメニューの「SDI DUAL LINK」(☞19ページ)が「ON」の状態では「DUAL LINK」と表示し、「SDI DUAL LINK」が「OFF」の状態で、3G SDI 信号が入力されたときは3G SDI信号情報が表示されます。ただし、MIXモード中は「SDI DUAL LINK」が「ON」でも、3G SDI信号情報が表示されます。

3G SDI 信号情報表示
3G SDI 入力時に表示できる入力信号は以下の通りです。

3G A-1:	レベルA	マッピングストラクチャー1
3G A-2:	レベルA	マッピングストラクチャー2
3G A-3:	レベルA	マッピングストラクチャー3
3G A-4:	レベルA	マッピングストラクチャー4
3G B-DS1:	レベルB	データストリーム1
3G B-DS2:	レベルB	データストリーム2
3G B-DUAL:	レベルB	DUAL LINK
3G B-DS1/2:	レベルB	デュアルストリームマッピング(MIXモード動作中)

3Dフォーマット変換方式
● MIXモードが「OFF」のときに3Dモードを「ON」にすると、3Dフォーマット変換方式が表示されます。
(☞19ページ メインメニュー 「3D SETTING」の「SDI FORMAT」/「DVI FORMAT」)
● 3G SDI入力およびDVI入力以外では、左詰めで表示されます。

3 3G SDI/HD SDI DUAL LINK入力時の詳細情報表示
● 信号フォーマットのサンプリング構造/色空間/ピクセル分解能が表示されます。
● 3G SDI信号またはHD SDI DUAL LINK信号が入力されたときのみ表示されます。

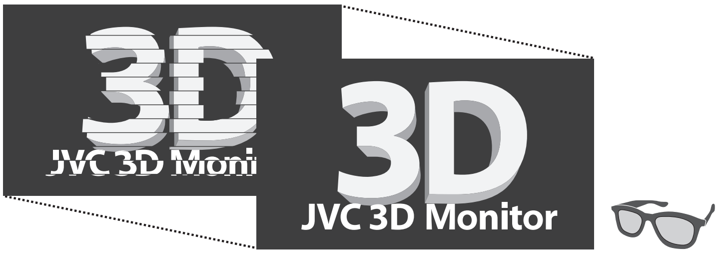
4 MUTING(消音)の設定状態
● 消音時のみ表示されます。(☞9ページ ⑤)

5 FRAME SYNC.の設定状態
● メインメニュー「3D SETTING」の「FRAME SYNC.」が「ON」のときのみ表示されます。(☞19ページ)

3D について

3D基本原理

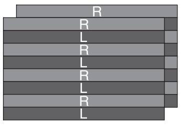
本機は、Xpol® 円偏光方式3D液晶モニターです。
液晶モニターの走査線1ラインおきに偏光特性の異なるフィルターを貼り、フィルターを通過した右目用（右円偏光）と左目用（左円偏光）の映像を円偏光メガネを通して視聴することで、立体視を可能にしています。
1画面上に常に左右の映像が表示されているため、ちらつきのない３D映像表示が得られます。



対応３D映像フォーマット

本機が対応する3Dフォーマットのタイプは、ライン･バイ･ライン(LINE BY LINE)、サイド･バイ･サイド HD(SIDE BY SIDE HD)、サイド･バイ･サイド SD(SIDE BY SIDE SD)の3種類です。

ライン･バイ･ライン
（LINE BY LINE）



左目用と右目用の映像を、ラインごとに交互に並べて表示します。

サイド･バイ･サイド HD
（SIDE BY SIDE HD）

左目用と右目用の映像を、横方向に1/2 に圧縮し左右に並べて表示します。水平解像度は半分になります。

サイド･バイ･サイド SD
（SIDE BY SIDE SD）

左目用と右目用の映像を、圧縮せずに左右に並べて表示します。水平解像度はそのままですが、3Dモード時は画面の両サイドが黒く表示されます。

3D視聴時の注意点

- 推奨視聴距離でご使用ください。(推奨視聴距離：正面 約 65cm)
- 3D 映像を視聴するときは、適切な設定を行なったあと円偏光メガネを掛けてください。
- 3D 映像の感じ方は、個人差があります。あまり近くで視聴すると不快感や異常の原因になります。
- 画面を見る角度によっては、3D の効果に違いが生じる場合があります。
- 体調がすぐれない時は、３D 映像の視聴はお控えください。
- 疲労感や不快感、目の疲労、めまい、吐き気、頭痛などの異常を感じた場合は、直ちに使用を中断し休憩してください。
- 休憩しても症状が改善されない場合は、医師の診察を受けてください。
- 定期的に休憩を取り、長時間の視聴は避けてください。（30 ～ 60 分程度の視聴が目安です。）
- 光過敏の既往症のあるかた、心臓疾患のあるかたは医師にご相談の上、視聴してください。
- ６歳未満のお子様は、視覚の発達段階にあるため、３D 映像の視聴に適さない場合があります。視聴される場合は、保護者が同席してください。
- ３D 映像の視聴画面によってはゴーストのように見えることがありますが、液晶パネルの特性であり故障ではありません。

円偏光メガネ使用時の注意点

- 3D 映像を見るときのみ、円偏光メガネを掛けてください。
- 添付の円偏光メガネ、または RealD ™ 方式対応の円偏光メガネをご使用ください。
- 普段メガネを掛けているかたは、通常のメガネの上から円偏光メガネを掛けて視聴してください。
- 円偏光メガネをサングラスとして使用しないでください。
- 円偏光メガネの接触する部位にアレルギーが出た場合は医師にご相談ください。

お知らせ

- 円偏光メガネを追加でお求めの際は、RealD ™ 方式対応の円偏光メガネをご購入いただくか、本機をお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ２D 映像の視聴画面によっては薄い黒帯が見えますが、液晶パネルの特性であり故障ではありません。

- Xpol® は、株式会社有沢製作所の登録商標です。
- RealD™ は、米国 RealD™ 社の商標です。

3D 映像を見る

本機で3D映像を見るには、3Dモードに切り換えます。既存の3D映像コンテンツを表示する方法と、2台のカメラで撮影されたL映像とR映像をミックスして表示する方法では、操作手順が異なります。

既存の3D映像を入力する場合

既存の3D映像コンテンツを3D映像として表示します。

1 SDI IN 1/L·2/R 端子または DVI-D端子に既存の3D映像を入力する

➔ DUAL LINKにも対応しています。

2 入力した映像に対応する INPUT SELECTボタンを押す

3 3Dボタンを押す

4 SELECTボタンで3Dフォーマットを選択する

➔ メインメニュー「3D SETTING」の「SDI FORMAT 1」「SDI FORMAT 2」または「DVI FORMAT 1」「DVI FORMAT 2」で設定された3Dフォーマットから選択します

- 円偏光メガネをかけて視聴してください。3D ボタンを押すと、円偏光メガネでの視聴に合わせて映像を補正した 3D モードに切り換わります。
- ライン・バイ・ライン方式とサイド・バイ・サイド方式以外の 3D 映像を入力した場合は、3D 表示されません。
- DVI 入力のサイド・バイ・サイド方式で映像の中心がずれて見える場合は、あらかじめセットアップメニュー「H POSITION ADJ.」の「3D H POSITION」で映像位置を調節してください。
- 必要に応じて、メインメニューの「3D SETTING」などの項目を設定してください。
- 垂直方向にスケーリングされる信号フォーマットでライン・バイ・ライン方式の 3D 映像を入力する場合は、画面表示を 1：1 表示に設定してください。

２台のカメラの映像を入力する場合

2台のカメラで撮影した2つの映像（L映像、R映像）をミックスし、3D映像として表示します。

1 SDI IN 1/L 端子に L映像、SDI IN 2/R 端子にR映像を入力する

➔ MIXモードに対応する、同一フォーマットのL映像とR映像を入力します
（3G SDI レベルBデュアルストリームの場合はSDI IN 1/L端子に、3G SDI レベルB DUAL LINKマッピングの場合はSDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子に入力します）

2 INPUT SELECTボタンの SDI 1/L または SDI 2/R を押す

➔ 3G SDI レベルBデュアルストリームの場合は、SDI 1/Lを押します

3 MIXボタンを押す

➔ サイド·バイ·サイド方式の映像になります

4 3Dボタンを押す

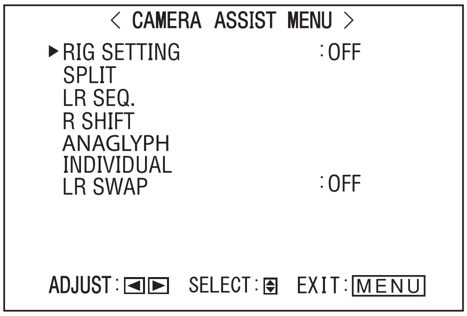
- 円偏光メガネをかけて視聴してください。3D ボタンを押すと、円偏光メガネでの視聴に合わせて映像を補正した 3D モードに切り換わります。
- 必要に応じて、メインメニューの「3D SETTING」やカメラアシストメニューなどの項目を設定してください。

カメラアシストメニューの設定（CAMERA ASSIST MENU）

本機は、3D映像撮影のための様々なカメラリグ調整アシスト機能を搭載しています。撮影時のカメラの調整に使用します。

メニューの操作

カメラアシストメニュー



1 CAMERA ASSISTボタンを押す

➔ カメラアシストメニューが表示されます。

- SDI 入力を選択している状態で、MIX モードが有効な映像が入力されているときのみ働きます。
- 「MARKER」表示中に CAMERA ASSIST ボタンを押したときは、「MARKER」表示を消してカメラアシストメニューを表示します。

2 △▽ ボタンで項目を選び、▷ ボタンで次の画面へ進む

- 項目によっては ◁▷ ボタンを押して設定します。

3 CAMERA ASSISTボタンを押してメニューの操作を終了する

- MENUボタンを押してもメニュー画面を閉じることができます。

カメラアシストメニュー

RIG SETTING

ステレオカメラリグの状態により、片方の映像の左右反転・上下反転・180° 回転を設定します。

- カメラアシストメニューを終了しても、設定は記憶されます。

ハーフミラー方式

片方の映像が左右反転した状態です。

- 上の映像の場合、「R-H-MIRROR」を選択して 3D 表示に適した状態にします。

ハーフミラー方式

片方の映像が上下反転した状態です。

- 上の映像の場合、「R-V-MIRROR」を選択して 3D 表示に適した状態にします。

平行二眼式

片方の映像が180° 回転した状態です。

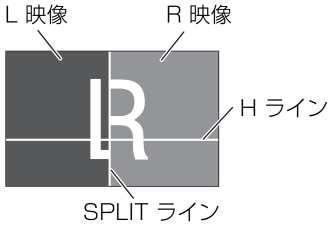
- 上の映像の場合、「R-ROTATION」を選択して 3D 表示に適した状態にします。

設定値	内容
OFF	回転／反転をしない通常表示
R-H-MIRROR	SDI IN 2/R 端子に入力している映像を左右反転させて表示
R-V-MIRROR 注1	SDI IN 2/R 端子に入力している映像を上下反転させて表示
L-H-MIRROR	SDI IN 1/L 端子に入力している映像を左右反転させて表示
L-V-MIRROR 注1	SDI IN 1/L 端子に入力している映像を上下反転させて表示
R-ROTATION 注1	SDI IN 2/R 端子に入力している映像を180° 回転させて表示
L-ROTATION 注1	SDI IN 1/L 端子に入力している映像を180° 回転させて表示

注1 上下反転・180° 回転に要するディレイは2フレームです。上下反転・180° 回転した映像のディレイに合わせて、もう一方の映像もディレイさせ同期します。

SPLIT

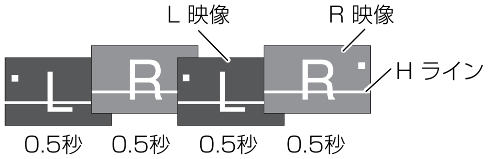
SPLITラインを境に左側にL映像、右側にR映像を表示して２台のカメラの映像の差を確認することができます。



LR SEQ.

L映像とR映像を0.5秒ずつ交互に表示します。

● 画面上部に、L 映像と R 映像を見分けるためのマーカーが表示されます。
　L映像：左上
　R映像：右上



R SHIFT

L映像とR映像を重ねて表示し、R映像を水平方向に移動させてその差を確認できます。

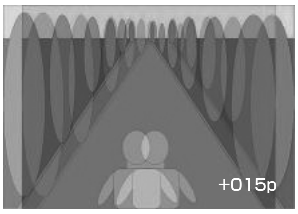
● 「R SHIFT」の設定中は、円偏光メガネでの確認に合わせた映像補正を行ないます。

左右の映像が合致していない状態

左右の映像が合致している状態

ANAGLYPH

L映像とR映像を赤色と青色に色分けし、重ねて表示します。R映像を水平方向に移動させて、その差を確認できます。



INDIVIDUAL

L映像とR映像のどちらか一方を表示します。

● SELECT ボタンを押すごとに、L 映像と R 映像が切り換わります。
● 画面上部に、L 映像と R 映像を見分けるためのマーカーが表示されます。
　L映像：左上
　R映像：右上

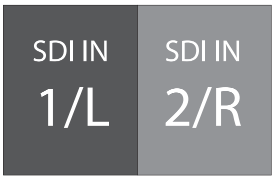
L 映像

R 映像

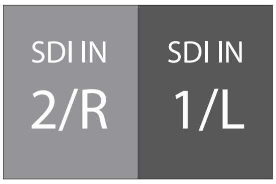
LR SWAP

L映像とR映像を入れ換えて表示します。端子をつなぎ変えずに映像を入れ換えることができます。

● メニューを終了しても設定は記憶されます。「ON」に設定した場合は、L 映像と R 映像が入れ換わって表示されていることに留意してください。



LR SWAP「OFF」



LR SWAP「ON」

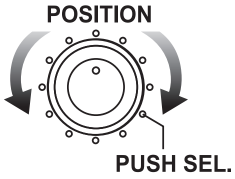
POSITIONノブ/PUSH SEL. ボタンについて

画面上に表示されるSPLITライン/H ライン/R映像（「R SHIFT」と「ANAGLYPH」のときのみ）は、POSITIONノブを回して動かすことができます。

右/上方向へ動かす場合：POSITIONノブを時計回りに回す

左/下方向へ動かす場合：POSITIONノブを反時計回りに回す

動かすラインを選択する場合：PUSH SEL. ボタンを押す



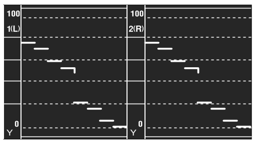
● PUSH SEL. ボタンを 3 秒以上押しつづけると、ラインや R 映像は初期位置に戻ります。
● SPLIT ラインと H ラインの輝度は、メインメニュー「3D SETTING」の「L. INTENSITY」で変更できます。（☞19 ページ）

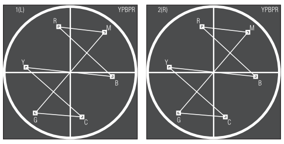
その他 3D 関連機能

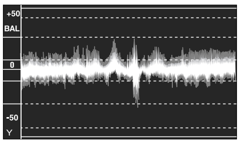
SCOPEボタン/ランプ

画面上に波形モニターまたはベクトルスコープを表示し、SDI IN 1/LとSDI IN 2/Rの入力信号を比較して確認することができます。
● MIXモード中に働きます。MIXモードでないときは動作が異なります。(☞9ページ)
● SCOPEボタンを押すごとに、表示モードが下記のように切り換わります。

表示なし	:	波形モニター/ベクトルスコープを表示しません。
↓		
並列波形モニター	:	SDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子に入力されている映像の波形モニターを並べて表示します。
↓		
並列ベクトルスコープ	:	SDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子に入力されている映像のベクトルスコープを並べて表示します。
↓		
差分波形モニター	:	SDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子に入力されている入力信号のデータの差分を波形モニターで表示します。
↓		
差分ベクトルスコープ	:	SDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子に入力されている入力信号のデータの差分をベクトルスコープで表示します。


並列波形モニター


並列ベクトルスコープ


差分波形モニター

差分ベクトルスコープ

・カメラアシストメニューの「LR SWAP」を「ON」にしている場合、並列波形モニターと並列ベクトルスコープのLとRは入れ換わって表示されます。
・波形モニターとベクトルスコープの表示位置は、メインメニュー 「SCOPE SETTING」の「POSITION」で変更することができます。
・カメラアシストメニューの「R SHIFT」、「ANAGLYPH」では表示しません。
・RGB信号の場合、ベクトルスコープは表示しません。

3D CURSORボタン/ランプ

3Dモードが「ON」のとき、L映像とR映像の両目視差を測定するライン(Lライン、Rライン)と、ライン間のピクセルとパーセントを表示します。
ラインの表示方法は、「カーソルモード」と「グリッドモード」の２種類です。
● 3D CURSORボタンを押すごとに、ラインの表示方法が下記のように切り換わります。

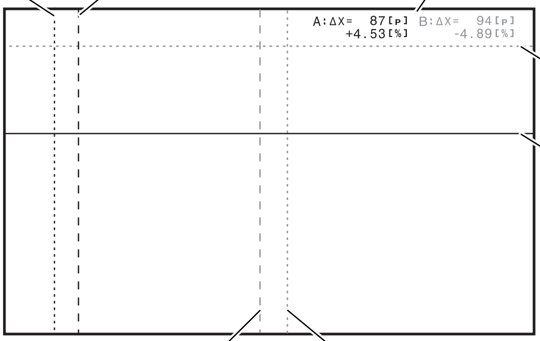
表示なし → カーソルモード → グリッドモード → 表示なし

● 「カーソルモード」および「グリッドモード」表示中は、情報表示(☞10ページ)およびSCOPEは表示しません。
● ピクセル表示/パーセント表示位置は、セットアップメニュー 「INFORMATION」の「POSITION」で変更することができます。

カーソルモード

画面上に、視差を測定するためのLライン、Rライン、Hラインが表示されます。
● Hライン･Lラインは細かい点線、Rラインは粗い点線、選択しているラインは実線で表示されます。

Lライン(Aグループ)　Rライン(Aグループ)　LRライン間のピクセル表示/パーセント表示



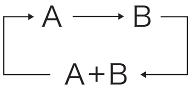
Hライン(Bグループ)
Hライン(Aグループ)(選択中)
Rライン(Bグループ)　Lライン(Bグループ)

● メインメニュー 「3D SETTING」の「FAR LIMIT」「NEAR LIMIT」の設定を超えると、ラインの色が変わります。
● パーセント表示の項目には、表示水平画素に対するLRライン間の割合が表示されます。
● パーセント表示の項目の「+」は飛び出し量(LラインよりRラインが右側にあるとき)を、「−」は引っ込み量(LラインよりRラインが左側にあるとき)を表します。

- カーソルモードでは、以下の2グループのラインを表示することができます。

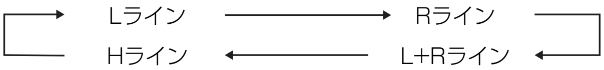
  Aグループ： Lライン･Rライン･Hライン（**通常時：** 緑色表示　／ **LIMITオーバー時:** 赤色表示）
  Bグループ： Lライン･Rライン･Hライン（**通常時：** マゼンタ表示　／ **LIMITオーバー時:** オレンジ色表示）

  - SELECTボタンを押して、表示するグループを切り換えることができます。 SELECTボタンを押すごとに、表示するグループが右記のように切り換わります。
  - メインメニュー「3D SETTING」の「FAR LIMIT」「NEAR LIMIT」の設定を超えると、ラインの色がLIMITオーバー時の色に変わります。



- Lライン、Rライン、Hラインはそれぞれ POSITIONノブで動かすことができます。

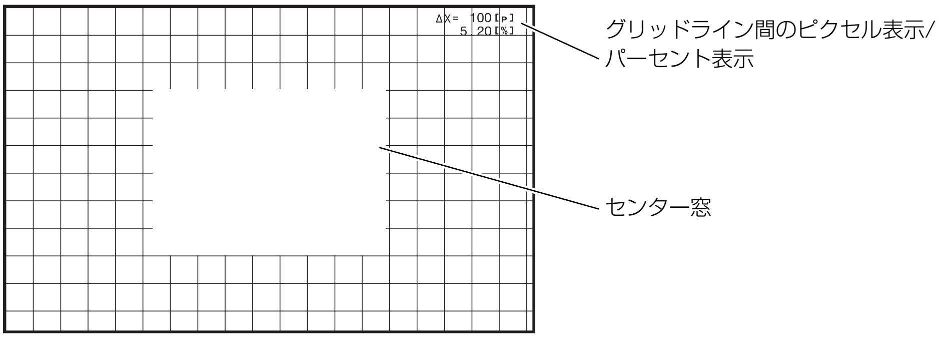
  右/上方向へ動かす場合： POSITIONノブを時計回りに回す
  左/下方向へ動かす場合： POSITIONノブを反時計回りに回す
  動かすラインを選択する場合： PUSH SEL. ボタンを押す（押すごとに、下記のように切り換わります。）



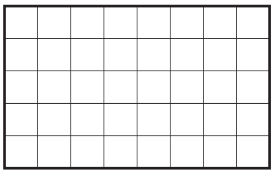
  - A+Bグループを表示中に各ラインを選択する場合、Aグループの選択のあとBグループの選択に切り換わります。
  - L+Rラインを選択しているときは、LラインとRラインを別々に動かすことはできません。
  - PUSH SEL.ボタンを3秒以上押しつづけると、表示中のラインは初期位置に戻ります。

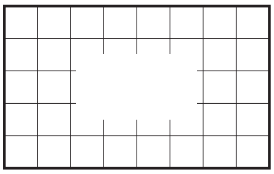
グリッドモード

画面上に、視差を測定するためのグリッドラインを表示します。



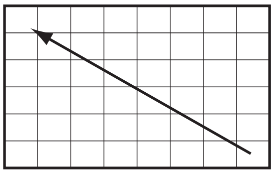
- グリッドモードの表示方法には、通常表示とセンター窓表示の2種類があります。
  SELECTボタンを押して、表示方法を切り換えることができます。

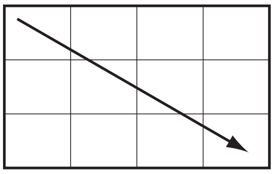

通常表示


センター窓表示

- グリッドラインの幅は変更することができます。POSITIONノブを回すと、画面左上を起点に拡大/縮小します。

  拡大する場合： POSITIONノブを時計回りに回す
  縮小する場合： POSITIONノブを反時計回りに回す

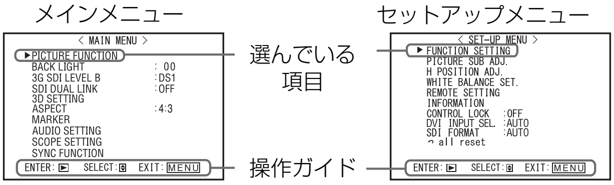

グリッドライン幅を縮小


グリッドライン幅を拡大

  - パーセント表示の項目には、表示水平画素に対するグリッド間の割合が表示されます。
  - PUSH SEL.ボタンを3秒以上押しつづけると、グリッド幅が100ピクセル（初期状態）に戻ります。
  - メインメニュー 「3D SETTING」の「L. INTENSITY」を「LOW」に設定している場合、グリッドラインは半透明で表示されます。

メニューの設定（MAIN MENU/SET-UP MENU）

メニューの操作



1 メニューを表示させる

メインメニューを表示させるとき

➡ MENU ボタンを押す

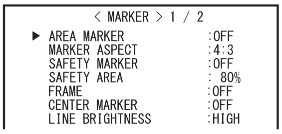
セットアップメニューを表示させるとき

➡ ▽ ボタンを押しながら ◁ ボタンを押す

2 △ ▽ ボタンで項目を選び、▷ ボタンで次の画面へ進む

● 項目によっては、◁ ▷ボタンを押して設定します。

3 △ ▽ ボタンで項目を選び、◁ ▷ ボタンで設定する



（例）メインメニューの
「MARKER」を選んだとき

4 MENUボタンを押してメニューの操作を終了する

● メニュー画面の表示が消えるまで、MENUボタンをくり返し押します。

メニューの遷移図

MAIN MENU

- PICTURE FUNCTION
  - APERTURE
  - APERTURE LEVEL
  - I/P MODE
  - sub menu
  - reset
- BACK LIGHT
- 3G SDI LEVEL B
- SDI DUAL LINK
- 3D SETTING
  - SDI FORMAT 1
  - SDI FORMAT 2
  - DVI FORMAT 1
  - DVI FORMAT 2
  - SINGLE IMAGE
  - FRAME SYNC.
  - FAR LIMIT
  - NEAR LIMIT
  - L. INTENSITY
- ASPECT
- MARKER
  - AREA MARKER
  - MARKER ASPECT
  - SAFETY MARKER
  - SAFETY AREA
  - FRAME
  - CENTER MARKER
  - LINE BRIGHTNESS
  - R-AREA MARKER
  - R-MARKER ASPECT
  - R-SAFETY MARKER
  - R-SAFETY AREA
- AUDIO SETTING
  - BALANCE
  - E.AUDIO GROUP
  - LEVEL METER SETTING
    - LEVEL METER ch
    - BAR TYPE
    - REFERENCE LEVEL
    - OVER LEVEL
    - BAR BRIGHTNESS
    - PEAK HOLD
- SCOPE SETTING
  - GAIN
  - SIZE
  - POSITION
  - TRANSPARENT
  - AUTO OFF
  - WAVE DISPLAY
  - WAVE FILTER
  - WAVE OVER LEVEL
    - MARKING
    - LEVEL
- SYNC FUNCTION
  - NO SYNC ACTION
  - DELAY TIME
  - LOW LATENCY

SET-UP MENU

- FUNCTION SETTING
  - sub menu POSI.
  - TALLY SELECT
  - SD4:3 LARGE
  - DIMMER
- PICTURE SUB ADJ.
  - CONTRAST
  - BRIGHT
  - CHROMA
  - sub menu
  - reset
- H POSITION ADJ.
  - 3D H POSITION
  - sub menu
  - reset
- WHITE BALANCE SET.
  - GAMMA
  - COLOR TEMP.
  - R DRIVE
  - G DRIVE
  - B DRIVE
  - R CUT OFF
  - G CUT OFF
  - B CUT OFF
  - sub menu
  - reset
- REMOTE SETTING
  - SERIAL TYPE
  - PARALLEL TYPE
  - PIN1
  - PIN2
  - PIN3
  - PIN4
  - PIN5
  - PIN6
  - PIN7
  - PIN8
- INFORMATION
  - POSITION
  - SOURCE ID
  - CHARACTER SET.
  - STATUS DISPLAY
  - TIME CODE
  - CRC ERROR
  - SUB HOUR METER
  - MODEL
  - VERSION
  - HOUR METER
- CONTROL LOCK
- DVI INPUT SEL.
- SDI FORMAT
- all reset

● メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
● 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
● MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

メインメニュー

PICTURE FUNCTION

画質を向上させるための設定

項目名	内容	設定値
APERTURE 注1	「APERTURE LEVEL」で設定される値のオン/オフ	OFF、ON
APERTURE LEVEL注1	RGB各色の周波数特性を同時に補正	01 ～ 10
I/P MODE	入力映像に応じてスキャンモードを選択	NORMAL、CINEMA、FIELD
sub menu	「PICTURE FUNCTION」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「PICTURE FUNCTION」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1　入力ごとに記憶されます。

BACK LIGHT　設定値：−20 ～ +20

バックライトの明るさを調節

3G SDI LEVEL B　設定値：ＤＳ１、ＤＳ２

3G SDI LEVEL B入力時、多重処理された２つのHD SDI信号から表示させたいデータストリームを選択

- 3G SDI LEVEL B DUAL LINK信号を入力した場合、設定値は無効になります。

SDI DUAL LINK　設定値：ＯＦＦ、ＯＮ

SDI信号のDUAL LINK機能をオン/オフ

- 設定を「ON」にしておくと、「DUAL LINK」とステータスが表示されます。(☞11ページ「DUAL LINK設定表示/3G SDI信号情報表示」)
- DUAL LINK SDI以外のSDI信号入力時は、設定を「OFF」にしてください。

3D SETTING

3D機能の設定

項目名	内容	設定値
SDI FORMAT 1 注1	SDI入力の3Dフォーマットの選択肢１を設定 設定値と内容は以下のとおりです。 LbL-RL　：　ライン･バイ･ライン入力、1ライン目がR映像 LbL-LR　：　ライン･バイ･ライン入力、1ライン目がL映像 SbS-HD-LR　：　水平圧縮したサイド･バイ･サイド入力、左側にL映像 SbS-HD-RL　：　水平圧縮したサイド･バイ･サイド入力、左側にR映像 SbS-SD-LR　：　非圧縮のサイド･バイ･サイド入力、左側にL映像 SbS-SD-RL　：　非圧縮のサイド･バイ･サイド入力、左側にR映像 • 3D映像入力で３Dモードが「ON」のとき、SELECTボタンで「FORMAT1」と「FORMAT2」を切り換えます。	LbL-RL LbL-LR SbS-HD-LR SbS-HD-RL SbS-SD-LR SbS-SD-RL
SDI FORMAT 2 注1	SDI入力の3D映像フォーマットの選択肢2を設定	
DVI FORMAT 1 注1	DVI入力の3D映像フォーマットの選択肢1を設定	
DVI FORMAT 2 注1	DVI入力の3D映像フォーマットの選択肢2を設定	
SINGLE IMAGE 注1	3Dモードが「ON」のときの表示チャンネルを選択 OFF　：　通常３Ｄ（左右映像） LEFT　：　L 映像のみ RIGHT　：　R 映像のみ	OFF LEFT RIGHT
FRAME SYNC.	MIXモード中に、SDI IN 1/L入力に合わせてSDI IN 2/R入力を強制的にロックして、左右の入力信号を同期させます。 • 本機でのタイムベース修正はできません。厳密に3D映像を撮影するには、映像機器側でGENLOCKを行ない、本機のFRAME SYNC. 設定は「OFF」にしてください。 • 「ON」設定時は、「OFF」設定時に比べて1フレームのディレイが発生します。	OFF ON
FAR LIMIT	「3Dカーソル」の「カーソルモード」での引っ込み量のリミット値を設定 • 縦線２本の差が設定された範囲を超えるとラインの色が変わります。	- 0.1% ～ - 4.0%
NEAR LIMIT	「3Dカーソル」の「カーソルモード」での飛び出し量のリミット値を設定 • 縦線２本の差が設定された範囲を超えるとラインの色が変わります。	+01% ～ +20%
L. INTENSITY	カメラアシストメニューと「3Dカーソル」で表示される、ラインの輝度を設定 • 「LOW」を選択した場合、「3Dカーソル」の「グリッドモード」のグリッドラインは半透明で表示されます。	ＨＩＧＨ ＬＯＷ

注1　MIXモードが「OFF」または無効のときに働きます。

ASPECT 設定値： 4:3、16:9

表示映像のアスペクト（画面の縦横比）を設定

- 1:1表示のときは働きません。

MARKER[注1注2]

マーカー機能の設定

	項目名	内容	設定値
1/2	AREA MARKER[注3]	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択 設定値と内容は以下のとおりです。 OFF ： 範囲を表示しない LINE ： 範囲を線で表示 HALF ： 範囲外をハーフトーンで表示 HALF+L ： 範囲を線で表示し、範囲外をハーフトーンで表示 BLK. ： 範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示 BLK.+L ： 範囲を線で表示し、範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示	OFF LINE HALF HALF+L BLK. BLK.+L
	MARKER ASPECT[注3]	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
	SAFETY MARKER	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択[注4]	OFF、LINE、HALF、HALF+L、BLK.、BLK.+L
	SAFETY AREA	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ～ 100%
	FRAME	映像範囲の表示/非表示	OFF、ON
	CENTER MARKER	映像の中央位置を示すマーカーの表示/非表示	OFF、ON
	LINE BRIGHTNESS	マーカーの輝度を設定	HIGH、LOW
2/2	R-AREA MARKER[注3]	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択[注4]	OFF、LINE、HALF、HALF+L、BLK.、BLK.+L
	R-MARKER ASPECT[注3]	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
	R-SAFETY MARKER	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択[注4]	OFF、LINE、HALF、HALF+L、BLK.、BLK.+L
	R-SAFETY AREA	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ～ 100%

- エリアマーカーとセーフティマーカーは、正面のMARKERボタンまたは外部制御で表示させます。
- 「R-」のついていない項目とついている項目のうち、どちらの設定を有効にするかは、外部制御で選択します。（☞26ページ「外部制御」）
- 4：3表示のときは、表示エリアに対してのセーフティマーカーが表示されます。
- 16：9表示のときに表示エリアに対するセーフティマーカーを表示させるときは、エリアマーカーを「OFF」にしてください。

注1 入力ごとに記憶されます。

注2 1：1表示のときと、セットアップメニュー「FUNCTION SETTING」の「SD4:3 LARGE」が「ON」で4:3フォーマットの信号が入力されているときは表示されません。

注3 16：9表示のときのみ表示されます。

注4 設定値の内容は「AREA MARKER」と同様です。

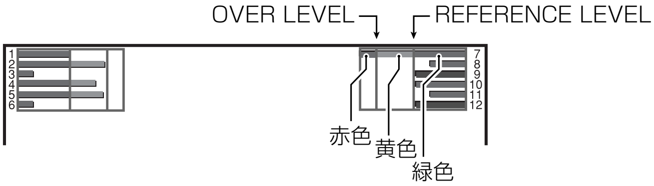
AUDIO SETTING

音量バランス、EMBEDDED AUDIO信号、オーディオレベルメーターについての設定

項目名	内容	設定値
BALANCE	左右のスピーカーの音量バランスを調節	L5 ～ L1、0、R1 ～ R5
E.AUDIO GROUP[注1]	EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルグループを選択 設定値と、各設定で選べるEMBEDDED AUDIOの音声チャンネルは以下のとおりです。 **1G** ： チャンネル1/2/3/4/1+2/3+4/1～4(1G) **2G** ： チャンネル5/6/7/8/5+6/7+8/5～8(2G) **1-2G** ： チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/1+2/3+4/5+6/7+8/1～4(1G)/5～8(2G)/1～8(1G+2G) **3G** ： チャンネル9/10/11/12/9+10/11+12/9～12(3G) **1-3G** ： チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/1+2/3+4/5+6/7+8/9+10/11+12/1～4(1G)/5～8(2G)/9～12(3G)/1～8(1G+2G)/1～12(1-3G) • GはGROUPのGです。	1G 2G 1-2G 3G 1-3G
LEVEL METER SETTING[注1]	EMBEDDED AUDIO信号のオーディオレベルメーター表示を設定	

オーディオレベルメーターの表示例―レベルメーター表示位置とチャンネルの関係

例： LEVEL METER ch：LINE、BAR TYPE: 3COLORSのとき



- 音声信号入力のないチャンネルのレベルメーターの色は、「3COLORS」設定時は白色、「W.100」設定時は灰色になります。
- 表示位置は画面上部と下部が選べます。(☞24ページ「INFORMATION」の「POSITION」)
- 「PEAK HOLD」が「ON」のときは、信号レベルがもっとも大きいときにレベルメーターの最大値を一定時間保持します。

項目名	内容	設定値
-LEVEL METER ch	レベルメーターの音声チャンネル表示順序を選択 **LINE** ： 画面左に1～6チャンネル、画面右に7～12チャンネルを表示 **DIVIDE** ： 画面左に奇数チャンネル、画面右に偶数チャンネルを表示	OFF LINE DIVIDE
-BAR TYPE	レベルメーターの色を設定 **3COLORS** ： レベルに応じて色分け **W.100** ： 白色	3COLORS W.100
-REFERENCE LEVEL	レベルメーターで表示される標準入力レベルを設定	−20dB、−18dB
-OVER LEVEL	レベルメーターの色が「3COLORS」のときに、赤色で表示される入力レベルの下限を設定	−10dB、−8dB、−6dB、−4dB、−2dB
-BAR BRIGHTNESS	レベルメーターの明るさを設定	LOW、HIGH
-PEAK HOLD	レベルメーターのピークホールド機能をオン/オフ	OFF、ON

注1 入力ごとに記憶されます。 MIXモード中は、SDI IN 1/Lに入力した音声信号のみに対応します。

メニューの設定（つづき）

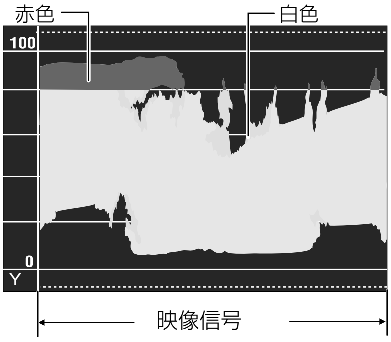
SCOPE SETTING[注1]

波形モニターとベクトルスコープについての設定

項目名	内容	設定値
GAIN	入力ゲインレベルを調節	−10 ～ +10
SIZE[注2 注3]	ウィンドウの大きさを設定	NORMAL、LARGE
POSITION[注2]	ウィンドウの表示位置を選択	1(右下)、2(左下) 3(左上)、4(右上)
TRANSPARENT[注3]	ウィンドウのバックグラウンドを半透明にする ON　：半透明 OFF　：通常	ON OFF
AUTO OFF	表示されてから15分後、ウィンドウが自動的に消える機能を設定	ON、OFF
WAVE DISPLAY	波形モニターの表示波形選択	Y、Pb、Pr(HD信号時) Y、Cb、Cr(SD信号時) R、G、B(RGB信号時)
WAVE FILTER	入力波形データにかけるローパスフィルター機能をオン/オフ	FLAT(フィルターなし)、 LOWPASS
WAVE OVER LEVEL[注3]	輝度信号(Y)とRGB信号のオーバーレベルを設定	

波形モニターの表示例

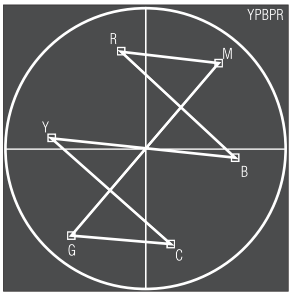
例：輝度信号(Y)、MARKING：ON、LEVEL：080のとき



- 「LEVEL」で設定した数値を超えた信号の波形の色は、赤色に変わります。
- 入力されている信号や「WAVE DISPLAY」の選択によっては、表示に違いがあります。

ベクトルスコープの表示例

例：カラーバー信号のとき



項目名	内容	設定値
-MARKING	「LEVEL」(☞下記)で設定した数値を超えた信号の波形の色を変える機能をオン/オフ	OFF、ON
-LEVEL	輝度信号のオーバーレベルの下限を設定	070 ～ 109

注1　DVI信号(パソコン入力)では波形モニターは表示しません。RGB信号ではベクトルスコープは表示しません。
注2　「SIZE」を「LARGE」に設定していると、「POSITION」の設定値に関わらずウィンドウが画面の中央に表示されます。
注3　MIXモード中、および CAMERA ASSISTボタンが「ON」のときは、項目が表示されません。

SYNC FUNCTION

信号との同期についての設定

項目名	内容	設定値
NO SYNC ACTION	入力信号がないときの動作を設定 STANDBY　：　モニターオフ(スタンバイ) P.SAVE　：　省電力モード GRAY B.　：　灰色画面	OFF STANDBY P.SAVE GRAY B.
DELAY TIME	入力信号がなくなってから、「NO SYNC ACTION」で設定した動作に切り換わるまでの時間を設定	30sec.、5min.、15min.
LOW LATENCY	入力された映像が表示されるまでの遅延時間を短くする機能をオン/オフ • 「ON」で映像が不安定なときは、「OFF」にしてください。 • 「ON」に設定していると、正面のボタンやメニューを操作したときや、信号フォーマットが変わったときに、画面がちらつくことがあります。	ON OFF

● 「NO SYNC ACTION」を「GRAY B.」にすると、画面が灰色になり、バックライトの消費電力が半減します。「P.SAVE」(省電力モード)にすると、バックライトをオフにして、消費電力をさらに抑えます。

セットアップメニュー

FUNCTION SETTING

サブメニュー表示、タリーランプの点灯色、映像のサイズ、ボタンランプの明るさの設定

項目名	内容	設定値
sub menu POSI.	サブメニューの表示内容と表示位置を選択 設定値と内容は以下のとおりです。 LOWER1： 現在の設定と調節バーを画面下部に表示 UPPER1： 現在の設定と調節バーを画面上部に表示 LOWER2： 現在の設定だけを画面下部に表示 UPPER2： 現在の設定だけを画面上部に表示 • 調節バーが表示されない項目もあります。	LOWER1 UPPER1 LOWER2 UPPER2
TALLY SELECT	タリーランプの点灯色を選択	GREEN、RED
SD4:3 LARGE	4：3フォーマットの信号が入力されているときの映像サイズを選択 設定値と内容は以下のとおりです。 OFF ： 垂直方向の映像サイズを画面の画素数に合わせて表示 ON ： 垂直方向の映像サイズを画面の垂直サイズに合わせて表示	OFF ON
DIMMER	ボタンランプの明るさを選択	NORMAL、DARK

PICTURE SUB ADJ.

映像調節の基準レベルを設定

項目名	内容	設定値
CONTRAST注1	正面のCONTRAST調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	- 20 ～ +20
BRIGHT注1	正面のBRIGHT調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	- 20 ～ +20
CHROMA注1	正面のCHROMA調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	- 20 ～ +20
sub menu	サブメニューを使って、「PICTURE SUB ADJ.」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「PICTURE SUB ADJ.」の設定をお買い上げ時の状態に戻す（項目を選んでリセットすることはできません）	

注1 入力ごとに記憶されます。

H POSITION ADJ.

サイド･バイ･サイド方式の映像のセンター位置調節

項目名	内容	設定値
3D H POSITION	センターラインを表示して、水平方向の映像位置を調節 • 3Dモードが「ON」でMIXモードが「OFF」または無効のとき、設定値が有効になります。	- 032 ～ +031
sub menu	サブメニューを使って、「H POSITION ADJ.」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「H POSITION ADJ.」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

WHITE BALANCE SET.

ガンマ補正値、色温度の選択と、R/G/Bのドライブレベル、カットオフ点を調節

項目名	内容	設定値
GAMMA	ガンマ補正値を選択	2.2(γ2.2相当)、2.35(γ2.35相当) 2.45(γ2.45相当)、2.6(γ2.6相当)
COLOR TEMP.	色温度を選択 • 3Dモードが「ON」のときは色温度が補正されます。	9300K、6500K、USER
R DRIVE G DRIVE B DRIVE注1	赤（R）、緑（G）、青（B）のドライブレベルを調節	MIN ～ 000 ～ MAX（256段階）
R CUT OFF G CUT OFF B CUT OFF注1	赤（R）、緑（G）、青（B）のカットオフ点を調節	MIN ～ 000 ～ MAX（256段階）
sub menu	サブメニューを使って、「WHITE BALANCE SET.」の各項目を映像を見ながら調節	
reset	「COLOR TEMP.」で選択されている色温度の「R DRIVE」～「B CUT OFF」の各項目の設定をお買い上げ時の状態に戻す（項目を選んでリセットすることはできません）	

注1 「COLOR TEMP.」の設定値ごとに記憶されます。

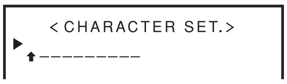
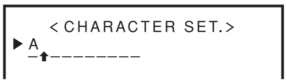
REMOTE SETTING (☞26ページ「外部制御」)

外部制御に関する設定

項目名	内容	設定値
SERIAL TYPE	シリアル方式で外部制御するときの外部制御端子を選択	RS232C、RS485
PARALLEL TYPE	MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択	MAKE、TRIGGER、SET
PIN1 PIN2 PIN3 PIN4 PIN5	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を各ピンに割り当て • 割り当ては上記の「PARALLEL TYPE」で「SET」を選んで行ないます。	☞27ページ「MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能」の「モニター表示」
PIN6 PIN7 PIN8	「PIN6」〜「PIN8」にはあらかじめ機能が割り当てられています。変更することはできません。	☞26ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」

INFORMATION

本機の情報の表示に関する設定

項目名	内容	設定値
POSITION	情報を表示させる位置を設定(☞10ページ「情報表示について」)	UPPER、LOWER
SOURCE ID	「CHARACTER SET.」で登録した映像ソース名の表示/非表示を設定 (☞10ページ「情報表示について」) • 「AUTO」に設定し、タリーランプを点灯させている場合はタリーランプの点灯色と同じ色に変わります。	OFF ON AUTO
CHARACTER SET.[注1]	任意の入力映像ソース名(10文字まで)を登録 RS-232C方式でも入力できます。 **「CHARACTER SET.」の設定** **1** 映像ソース名を登録したい入力に切り換える **2** 「CHARACTER SET.」を表示させる **3** △▽ボタンを押して1文字目に入力する文字を選ぶ ● △ボタンを押すごとに、文字が次のように切り換わります。▽ボタンでは逆順に切り換わります。 空白(スペース) → 0〜9 → A〜Z → a〜z → &()*+,–./:<>_  **4** ▷ボタンを押してカーソル(矢印)を次の文字の入力位置に移動させる ● カーソル(矢印)を移動させる前に入力した文字は記憶されます。 **5** 手順**3**、**4**をくり返して、最大10文字まで入力する **6** MENUボタンを押して設定を保存する 	
STATUS DISPLAY	現在選んでいる入力のステータスとMUTING(消音)の設定状態の表示/非表示を設定(☞11ページ「ステータス表示について」)	AUTO、OFF、ON
TIME CODE	タイムコードの表示種類を選択	VITC[注2]、LTC[注2]、D-VITC
CRC ERROR	HD SDI信号入力時のCRCエラーの表示/非表示を設定 (☞10ページ「情報表示について」)	OFF ON
SUB HOUR METER	使用時間を表示(単位:時間) 使用時間は、リセットして0に戻すことができます。	
MODEL	本機の型名を表示	
VERSION	本機のバージョンを表示	
HOUR METER	合計使用時間を表示(単位:時間) 本機の保守の際に確認します。合計使用時間はリセットできません。	

[注1] 入力ごとに記憶されます。
[注2] アンシラリータイムコード

CONTROL LOCK　設定値：OFF、VOL.LOCK、ALL LOCK

本機の操作ができないように設定

- 「VOL.LOCK」のときは以下の操作は働きません。
  - VOLUME調節ノブ
  - 映像調節ノブ
- 「ALL LOCK」のときは本機の操作ができません。ただし以下の操作は可能です。
  - モニターのオン/オフ（スタンバイ）
  - ▽ ボタンを押しながら ◁ ボタンを押してセットアップメニューを表示し、「CONTROL LOCK」を「OFF」にする
  - 外部制御による本機の操作

  これら以外の操作をすると、画面に「Control lock on!」と表示されます。

DVI INPUT SEL.　設定値：AUTO、COMPO.、RGB、PC

DVI-D（HDCP）端子に入力されている信号形式の設定

- 「AUTO」に設定すると、信号を自動判別します。（通常は「AUTO」に設定します）
- 「AUTO」で映像が正しく映らない場合は、「COMPO.」、「RGB」、「PC」のいずれかに設定してください。
- 本機のDVI-D入力はHDCPに対応しています。

SDI FORMAT　設定値：AUTO、MS1YCbCr、MS2YCbCr、MS3YCbCr、MS4YCbCr、MS2 RGB、MS3 RGB、3G-B-DS

3G SDI/HD SDI DUAL LINK入力時の信号形式の設定

- 「AUTO」に設定すると、信号を自動判別します。（通常は「AUTO」に設定します）
- 「AUTO」で映像が正しく映らない場合は、入力信号に合わせて選択してください。
- 「AUTO」以外を選択している場合は、ステータス表示に「M」が追加表示されます。

all reset

本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す（リセット）

- 「HOUR METER」と正面の調節ノブによる設定はリセットされません。
- AC電源動作時にリセットすると、いったんモニターがオフ（スタンバイ）になり、その後自動的にオンになります。
- DC電源動作時にリセットすると、モニターがオフ（スタンバイ）になります。

外部制御

外部制御の概要

本機は3種類の信号フォーマット入力・再生ができます。

- **MAKE/TRIGGER端子**(RJ-45):以下の2種類の制御方式から選びます。
  - ① **MAKE(メイク接点)方式**
    ピンを短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。
  - ② **TRIGGER(トリガー)方式**
    ピンに瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。
  - ☞右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
- **RS-485端子**(RJ-45):RS-485方式で本機を制御します。(☞28ページ「シリアル方式での外部制御」)
- **RS-232C端子**(D-sub 9ピン):RS-232C方式で本機を制御します。(☞28ページ「シリアル方式での外部制御」)

ご使用の外部制御端子と制御方式にあわせて、セットアップメニューの「REMOTE SETTING」を下の表のように設定してください。
(☞24ページ 「SERIAL TYPE」、「PARALLEL TYPE」)

外部制御端子	外部制御方式		本機の設定	
			「SERIAL TYPE」	「PARALLEL TYPE」
MAKE/TRIGGER端子	MAKE		—	MAKE
	TRIGGER		—	TRIGGER
RS-485端子	シリアル方式	RS-485	RS485注1	—
RS-232C端子		RS-232C	RS232C注1	—

注1 パソコンなどに接続したモニターは、接続した端子に合わせて設定します。2台め以降は「RS485」に設定します。

外部制御中、本機の操作には、次のような優先順位があります。
MAKE方式 ＞ TRIGGER方式 ＝ シリアル方式 ＝ 本機のボタンおよびメニュー

- 「CONTROL LOCK」(☞25ページ)が「VOL.LOCK」または「ALL LOCK」のときも、外部制御できます。
- モニターがオフ(スタンバイ)のときは、外部制御できません。ただし、シリアル方式の一部の外部制御(通信開始／終了、モニターオン)は可能です。(☞29ページ)

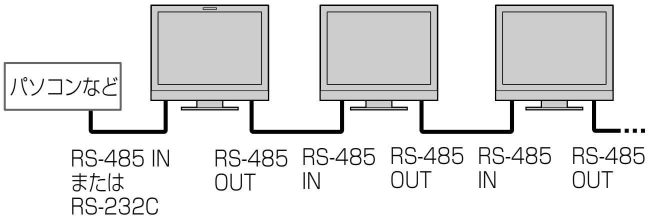
<MAKE、TRIGGER方式>

パソコンまたはコントローラー注2で本機を制御します。

- 詳しくは右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」をご覧ください。

注2 別途制作の必要があります。

<シリアル方式>

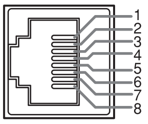


- 詳しくは28ページをご覧ください。

MAKE/TRIGGER方式での外部制御

MAKE/TRIGGER端子のピン配列と、各ピンの名前は以下のとおりです。
1番ピンから5番ピンの機能は、セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で割り当てることができます。
(☞24ページ「PARALLEL TYPE」、「PIN1、PIN2、PIN3、PIN4、PIN5」)

- 6番ピンから8番ピンの機能は変更できません。



端子はメスです。

ピン番号	名前
1	PIN1
2	PIN2
3	PIN3
4	PIN4
5	PIN5
6	TALLY注1
7	ENABLE注2
8	GND

注1 6番ピンはタリーランプの点灯/消灯を制御します。(7番ピンが無効のときも単独制御できます)
注2 7番ピンは外部制御の有効/無効を制御します。必ずMAKE方式で制御してください。

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法は、18ページをご覧ください。

1. セットアップメニューを表示して、「REMOTE SETTING」を選ぶ
2. 「PARALLEL TYPE」を「SET」に設定する
3. 割り当てたい端子(「PIN1」〜「PIN5」)を選び、機能を割り当てる
   割り当てられる機能については、29ページの一覧表をご覧ください。

外部制御の操作

1. セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で「PARALLEL TYPE」を「MAKE」または「TRIGGER」に設定する
2. 7番ピンを8番ピンに短絡して外部制御を有効にする
3. MAKE方式の場合 : 各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
   TRIGGER方式の場合 : 各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する

- MAKE方式での制御中に入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたい入力のピンを有効にしてください。
- TRIGGER方式では、複数のピンを一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

<MAKE／TRIGGER方式で制御可能な機能>

モニター表示	制御する機能	開放	短絡
TALLY SEL	タリーランプ色選択	緑	赤
SDI 1	入力を「SDI 1」に切換	無効	有効
SDI 2	入力を「SDI 2」に切換	無効	有効
DVI	入力を「DVI」に切換	無効	有効
3D	3Dモードのオン/オフ	オフ	オン
MIX	MIXモードのオン/オフ	オフ	オン
3D FORMAT	3Dフォーマット 1/2 切換[注3]	FORMAT1	FORMAT2
3G-B.DS	「3G SDI LEVEL B」のデータストリーム選択	DS1	DS2
DUAL LINK	「SDI DUAL LINK」の選択	オフ	オン
MARKER	エリアマーカーとセーフティマーカーの表示	オフ	オン
FRAME	映像範囲表示	オフ	オン
C.MARKER	センターマーカー表示	オフ	オン
MARK.SEL	「MARKER」で設定した機能の選択[注4]	「R-」のない機能の設定	「R-」付きの機能の設定
ASPECT	アスペクト切換	4:3	16:9
1:1	1:1表示	オフ	オン
STATUS	ステータス表示[注5]	☞11ページ「ステータス表示について」	
L.METER	オーディオレベルメーター表示	[注6]	
TIME CODE	タイムコード表示	オフ	オン
SOURCE ID	☞24ページ「INFORMATION」の「SOURCE ID」	[注7]	
PARA.WFM	波形モニター(通常または並列)の表示	[注8]	
PARA.VS	ベクトルスコープ(通常または並列)の表示		
BAL.WFM	波形モニター(通常または差分)の表示		
BAL.VS	ベクトルスコープ(通常または差分)の表示		
COLOR OFF	カラーオフ	カラー	モノクロ
SCR CHECK	スクリーンチェック	[注9]	
I/P MODE	入力映像に応じてモードを切換	[注10]	
MUTING	消音	オフ	オン
DIMMER	ボタンランプの明るさを切換	NORMAL	DARK
―――	機能なし	—	—

注3　3Dモードが「ON」のときにSELECTボタンを押す場合と同様に、3D映像フォーマットが切り換わります。

注4　「R-」のない機能と「R-」付きの機能の設定のどちらを使うかを選択します。(☞20ページ「MARKER」)

注5　現在選んでいる入力のINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報が表示されます。(☞11ページ「ステータス表示について」)MAKE方式で制御しているときは、短絡した瞬間のみ表示されます。

注6　MAKE方式では、表示(短絡)/非表示(開放)を切り換えます。「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは、短絡しても表示されません(「NO EFFECT」と表示されます)。TRIGGER方式では、オーディオレベルメーターの音声チャンネルの表示順序を切り換えます。

注7　MAKE方式では、「SOURCE ID」の設定値(「ON」または「AUTO」は短絡)と「OFF」(開放)を切り換えます。TRIGGER方式ではメニューの設定と同じように切り換わります。(☞24ページ「INFORMATION」の「SOURCE ID」)

注8　TRIGGER方式では、通常のSCOPE機能の場合と同様に表示モードが切り換わります。(☞9ページ [13])
MAKE方式では、メインメニューの「AUTO OFF」の設定にかかわらず、表示(短絡)/非表示(開放)の動作を以下のように行ないます。

モニター表示		[PIN 1] ～ [PIN 5] の設定値 PARA.WFM	PARA.VS	BAL.WFM	BAL.VS	同時設定時の優先順位
MIXモード	無効	波形モニター	ベクトルスコープ	波形モニター	ベクトルスコープ	波形モニター ＞ ベクトルスコープ
	有効	並列波形モニター	並列ベクトルスコープ	差分波形モニター	差分ベクトルスコープ	並列波形モニター ＞ 差分波形モニター ＞ 並列ベクトルスコープ ＞ 差分ベクトルスコープ

注9　MAKE方式では、通常の映像(開放)とB信号成分のみの映像(短絡)が切り換わります。TRIGGER方式では、SCREENS CHECKボタンを押したときと同じように切り換わります(☞9ページ [12])。

注10　TRIGGER方式で制御してください。「NORMAL」→「CINEMA」→「FIELD」の順番でモードが切り換わります。(MAKE方式では、制御できません)

- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- TRIGGER方式の場合、約1秒間短絡して開放する操作により、設定が交互に切り換わります。

外部制御（つづき）

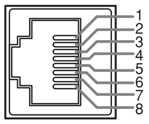
シリアル方式での外部制御

RS-485端子またはRS-232C端子を使って、本機をパソコンなどから制御します。
※制御仕様の詳細は、サービス窓口にお問い合わせください。

＜通信仕様＞

使用する端子	ケーブル	端子の仕様	通信仕様
RS-485端子	ストレートLANケーブル	☞下記	ボーレート：4800 bps データ長：8ビット パリティ：なし ストップビット：1ビット フロー制御：なし 通信コード：ASCIIコード
RS-232C端子	D-sub9ピン型コネクターのストレートケーブル （モニター側：オス、パソコン側：メス）		

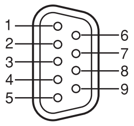
＜RS-485端子の仕様＞



端子はメスです。

ピン番号	IN端子信号	OUT端子信号
1	TXD+	TXD+
2	TXD−	TXD−
3	RXD+	RXD+
4	NC	NC
5	NC	NC
6	RXD−	RXD−
7	NC	NC
8	GND	GND

＜RS-232C端子の仕様＞



端子はメスです。

ピン番号	信号
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

● 7番ピンと8番ピンは接続されています。

＜コマンド概要＞
すべてのコマンドは、以下のフォーマットで形成されています。

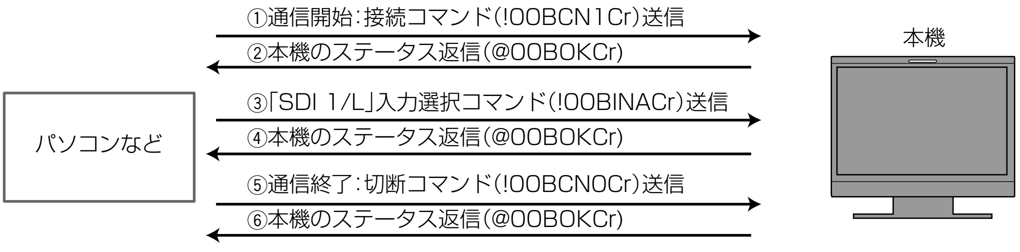
ヘッダー	本機のID	コマンドID	コマンド内容	データ内容	Cr(0Dh)

ヘッダーについて

「!」 ：パソコンから本機への制御。詳しくは、＜基本コマンド一覧＞（☞29ページ）をご覧ください。
「?」 ：パソコンから本機への問い合わせ
「@」：本機からパソコンへの返信

通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

通信例



<基本コマンド一覧>

No.	コマンド	機能	データ内容
1	! ＊ ＊注1 B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
2	! ＊ ＊注1 B C N 0 Cr	通信終了(切断)	なし
3	! ＊ ＊注1 B I D S E T x x注2 Cr	個別制御IDの割付	01～99
4	! ＊ ＊注1 B I D R E T Cr	個別制御IDの初期化	なし
5	! ＊ ＊注1 B I D D S P x x注2 Cr	IDの表示/非表示	00:非表示 01:表示
6	! ＊ ＊注1 B I D C H K x x注2 Cr	指定したIDのモニターのID No.を点滅表示/非表示	00:非表示 01:表示
7	! ＊ ＊注1 B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
8	! ＊ ＊注1 B U P Cr	項目選択(△)	なし
9	! ＊ ＊注1 B D O W N Cr	項目選択(▽)	なし
10	! ＊ ＊注1 B A D J R Cr	設定・調整(▷)	なし
11	! ＊ ＊注1 B A D J L Cr	設定・調整(◁)	なし
12	! ＊ ＊注1 B S E T U P Cr	セットアップメニューの表示	なし
13	! ＊ ＊注1 B P W 1 Cr	モニターをオン	なし
14	! ＊ ＊注1 B P W 0 Cr	モニターをオフ(スタンバイ)	なし
15	! ＊ ＊注1 B I N A Cr	「SDI 1/L」入力選択	なし
16	! ＊ ＊注1 B I N B Cr	「SDI 2/R」入力選択	なし
17	! ＊ ＊注1 B I N C Cr	「DVI」入力選択	なし
18	! ＊ ＊注1 B D I S P Cr	ステータス表示注3	なし
19	! ＊ ＊注1 B A M U T E x x注2 Cr	消音	00:オフ 01:オン
20	! ＊ ＊注1 B A S P x x注2 Cr	アスペクト切換	00:4:3 01:16:9
21	! ＊ ＊注1 B R O P O S I x x x x注2 Cr	POSITION操作	−999～+999
22	! ＊ ＊注1 B R O P U S H x x注2 Cr	PUSH SEL.操作	00:選択切り換え 01:表示位置リセット
23	! ＊ ＊注1 B S E L E C T Cr	SELECTキー動作	なし
24	! ＊ ＊注1 B 3 D S C A L E x x注2 Cr	3Dカーソルモード切り換え	00:オフ 01:カーソルモード 02:グリッドモード
25	! ＊ ＊注1 B 3 D x x注2 Cr	3Dモード切り換え	00:オフ 01:オン
26	! ＊ ＊注1 B C A M E R A Cr	カメラアシストメニューの表示	なし
27	! ＊ ＊注1 B M I X x x注2 Cr	MIXモード切り換え	00:オフ 01:オン

- 「Cr」は0Dhです。
- 通信開始(接続)コマンド(No.1)、通信終了(切断)コマンド(No.2)、モニターをオンにするコマンド(No.13)は、モニターがオフ(スタンバイ)のときも通信できます。

注1 「＊＊」には、本機のIDを入力します。本機のIDの初期設定は「00」です。モニターを複数台接続している場合、「00」は一括制御コマンドになります。

注2 「xx」にはデータ内容を入力します。

注3 現在点灯しているINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報を表示します。(☞11ページ「ステータス表示について」)

困ったときは

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	こうしてください	ページ
電源が入らない	● ⏻ / I ボタンをオンにしてください。 ● 電源プラグを確実に差し込んでください。 ● 背面のAC電源スイッチをオンにしてください。 ● DC電源作動時に⏻ / I ボタンでモニターをオンにしない場合は、DCコネクターをはずしてDC電源を動作電圧内に設定してから、もう一度接続してください。	9 7 7
映像が映らない	● INPUT SELECTボタンで正しい入力を選んでください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 ● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	9 7 — 33、34
音が出ない	● 音量を調節してください。 ● 消音を解除してください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。	8 9 7 —
「Out of range」と表示される	● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	11、33、34
「NO SYNC」と表示される	● INPUT SELECTボタンで正しい入力を選んでください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境を確認してください。	9 7 —
色がおかしい/色がつかない	● 各映像調節ノブまたはセットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。 ● COLOR OFFボタン、SCREENS CHECKボタンの設定を確認してください。 ● セットアップメニューの「WHITE BALANCE SET.」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。	8、23 9 23
映像がぼやける	● 映像調節ノブで「BRIGHT」や「CONTRAST」を調節してください。 または、セットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の項目で「BRIGHT」や「CONTRAST」を調節してください。	8、23
映像の位置がずれている、 映像のサイズが合っていない 信号によっては、映像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。	● 1:1ボタンの設定を確認してください。 ● メインメニューの「ASPECT」、セットアップメニューの「FUNCTION SETTING」の「SD4:3 LARGE」の設定を確認してください。 ● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	9 20、23 33、34
メニューに表示されない項目がある	● 選択している入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューに表示されません。入力や信号フォーマットを切り換えてください。 ● MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。	— 26
本機で操作できない	● セットアップメニューの「CONTROL LOCK」を「OFF」に設定してください。 ● MAKE方式で外部制御している機能は、本機からは操作出来ません。外部制御を無効にしてください。	25 26、27
3D映像にならない	● 3Dボタンを押して、3Dモードにしてください。 ● SELECTボタンを押して、3D映像フォーマットを切り換えてください。（既存の3D映像入力時） ● メインメニュー「3D SETTING」の「SDI FORMAT 1/SDI FORMAT 2」または「DVI FORMAT 1/DVI FORMAT 2」で、入力信号に対応した3D映像フォーマットを設定してください。（既存の3D映像入力時）	9、13 9、13 19
MIXモードにならない	● MIXボタンを押して、MIXモードにしてください。 ● MIXモードに対応する同一フォーマットのL映像とR映像を入力してください。 ● 3G SDI レベルBデュアルストリームは、SDI IN 1/L端子に入力してください。	9、13 33 —
MIXモードにすると映像が乱れる、 同期がとれない	● メインメニュー「3D SETTING」の「FRAME SYNC.」を「ON」または「OFF」にしてください。	19

こんなときは故障ではありません

- 静止画を長時間表示していると、映像を切り換えても前の映像がぼんやりと映っていること（残像）がありますが、しばらくすると消えます。また、表示する時間によっては、残像が長期にわたる場合があります。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
  - ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる。
  - 本機の天面や背面の一部が熱くなっている。
  - 本機から「ミシッ」という音がする。
  - 本機の内部から動作音が聞こえる。

自己診断表示について

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、INPUT SELECTランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。
INPUT SELECTランプが点滅したら、次の手順でお買い上げ販売店にご相談ください。

画面が消え、正面のINPUT SELECTランプ(SDI 1/L、SDI 2/R、DVI)が点滅したら...

1 どのランプが点滅しているかを確認する

2 ⏻/I ボタンを押してモニターをオフ(スタンバイ)にする

3 背面のAC電源スイッチをオフにする

4 電源コードを抜く

5 お買い上げ販売店に点滅していたランプを知らせる

- 電源を切った後、すぐに電源を入れると、INPUT SELECTランプが点滅し、映像が映らないことがあります(瞬間的な停電も含みます)。
  このような場合は、一度電源を切り、10秒以上待ってから再び電源を入れてください。
  INPUT SELECTランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。

仕様

一般

型名	DT-3D24G1
種類	3D 液晶マルチフォーマットモニター
画面サイズ	24V型ワイド
アスペクト比	16:10
対応映像信号フォーマット	☞33ページ「対応信号フォーマット」
適用規格	3G SDI : SMPTE424M/SMPTE425M DUAL LINK HD SDI : SMPTE372M HD SDI : BTA S-004C、SMPTE292M SD SDI : ITU-R BT.656: 525/625 SMPTE259M: 525 EMBEDDED AUDIO : SMPTE299M、SMPTE272M
音声出力	内部スピーカー:1.0 W + 1.0 W
動作使用条件	温度 5℃~35℃ 湿度 20%~80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)
使用電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz共用 または DC 24 V(電圧範囲: DC 23.3 V ~ DC 25.5 V)
定格電流	1.37 A (AC 100 V のとき) 4.8 A (DC 24V のとき)
外形寸法(突起部除く)	横幅: 56.4 cm　56.4 cm 高さ: 44.86 cm　40.8 cm 奥行: 24.3 cm　9.9 cm (スタンドを含む)　(本体のみ)
質量	12.0 kg(スタンドを含む) 9.1 kg(本体のみ)
付属品	電源コード(3極)×1、電源コード(アース線付き2極)×1、電源コードホルダー×1、 ネジ×2(電源コードホルダー用)、円偏光メガネ×2(3D視聴用:保証対象外)

液晶パネル

種類	24型ワイド、アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法	横幅: 51.84 cm 高さ: 32.4 cm 対角: 61.13 cm
表示画素数(解像度)	1920×1200ピクセル
表示色数	約1677万色
コントラスト比(標準値)	1000:1

入出力端子

映像	DVI-D (HDCP)	DVI-D信号入力(HDCP対応): DVI-Dコネクター×1(DDC2B対応)
	E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI (IN 1/L)	デジタル信号入力(EMBEDDED AUDIO/DUAL LINK信号対応): 自動検知、2系統、BNCコネクター×2
	E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI (IN 2/R)	
	E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI (ACTIVE OUT)	デジタル信号出力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 2系統リクロックアウト、BNCコネクター×2
音声	AUDIO (IN)	アナログ音声信号入力:1系統、RCAコネクター×2、 500 mV(rms)、ハイインピーダンス
	AUDIO (MONITOR OUT)	アナログ音声信号出力:1系統、RCAコネクター×2、 500 mV(rms)
外部制御	REMOTE (MAKE/TRIGGER)	☞26ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
	REMOTE (RS-485)	☞28ページ「シリアル方式での外部制御」
	REMOTE (RS-232C)	

対応信号フォーマット

本機は以下の信号フォーマットを入力･再生できます。

○：入力可
―：入力不可

ビデオ信号

No.	名称	ステータス表示の信号フォーマット（☞11ページ）	入力端子				
			E. AUDIO SDI（IN 1、IN 2）注1				DVI-D（HDCP）（デジタルコンポーネント/デジタルRGB）
			SD/HD（1.5G）	3G SDI	DUAL LINK	MIX	
1	480/60i	480/60i	○	―	―	―	○
2	480/59.94i	480/59.94i	○	―	―	―	○
3	576/50i	576/50i	○	―	―	―	○
4	480/60p	480/60p	―	―	―	―	○
5	480/59.94p	480/59.94p	―	―	―	―	○
6	576/50p	576/50p	―	―	―	―	○
7	640*480/60p	640*480/60p	―	―	―	―	○
8	640*480/59.94p	640*480/59.94p	―	―	―	―	○
9	720/60p	720/60p	○	○	―	○	○
10	720/59.94p	720/59.94p	○	○	―	○	○
11	720/50p	720/50p	○	○	―	○	○
12	720/30p	720/30p	○	○	―	○	―
13	720/29.97p	720/29.97p	○	○	―	○	―
14	720/25p	720/25p	○	○	―	○	―
15	720/24p	720/24p	○	○	―	○	―
16	720/23.98p	720/23.98p	○	○	―	○	―
17	1080/60i	1080/60i	○	○	○	○	○
18	1080/59.94i	1080/59.94i	○	○	○	○	○
19	1035/60i	1035/60i	○	―	―	―	―
20	1035/59.94i	1035/59.94i	○	―	―	―	―
21	1080/50i	1080/50i	○	○	○	○	○
22	1080/60p	1080/60p	―	○	○	○	○
23	1080/59.94p	1080/59.94p	―	○	○	○	○
24	1080/50p	1080/50p	―	○	○	○	○
25	1080/30p	1080/30p	○	○	○	○	○
26	1080/29.97p	1080/29.97p	○	○	○	○	○
27	1080/25p	1080/25p	○	○	○	○	○
28	1080/24p	1080/24p	○	○	○	○	○
29	1080/23.98p	1080/23.98p	○	○	○	○	○
30	1080/30psF	1080/30psf	○注2	○注2	○注2	○注2	―
31	1080/29.97psF	1080/29.97psf	○注3	○注3	○注3	○注3	―
32	1080/24psF	1080/24psf	○	○	○	○	―
33	1080/23.98psF	1080/23.98psf	○	○	○	○	―
34	1080/25psF	1080/25psf	○注4	○注4	○注4	○注4	―

注1　EMBEDDED AUDIO信号対応。
注2　ペイロードIDがない場合は、1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。
注3　ペイロードIDがない場合は、1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。
注4　ペイロードIDがない場合は、1080/50iとみなされ、「1080/50i」とステータスが表示されます。

輸送上のお願い

本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は使用しないでください。

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
  This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 画面サイズのV型(24V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「JIS C 61000-3-2適合品」です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

仕様（つづき）

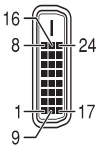
パソコン信号(プリセット)
DVI-D(HDCP)端子:

No.	名称	解像度		周波数		走査方式
		水平	垂直	水平(kHz)	垂直(Hz)	
1	VGA60	640	480	31.5	59.9	ノンインターレース
2	WVGA60	852	480	31.5	59.9	ノンインターレース
3	SVGA60	800	600	37.9	60.3	ノンインターレース
4	XGA60	1024	768	48.4	60.0	ノンインターレース
5	WXGA(1280)	1280	768	47.8	60.0	ノンインターレース
6	WXGA+60	1440	900	55.9	60.0	ノンインターレース
7	SXGA60	1280	1024	64.0	60.0	ノンインターレース
8	WSXGA+60	1680	1050	65.2	60.0	ノンインターレース
9	UXGA60	1600	1200	75.0	60.0	ノンインターレース
10	WUXGA60	1920	1200	74.0	60.0	ノンインターレース
11	720/60p	1280	720	45.0	60.0	ノンインターレース
12	1080/60p	1920	1080	67.5	60.0	ノンインターレース
13	720/50p	1280	720	37.5	50.0	ノンインターレース
14	1080/50p	1920	1080	56.25	50.0	ノンインターレース

- プリセットされていない信号は正常に映らないことがあります。
- プリセットされている信号を入力したときは、ステータス表示で信号フォーマットが表示されます。プリセットされていない信号を入力したときは、解像度が表示されます。

DVI-D(HDCP)端子の仕様

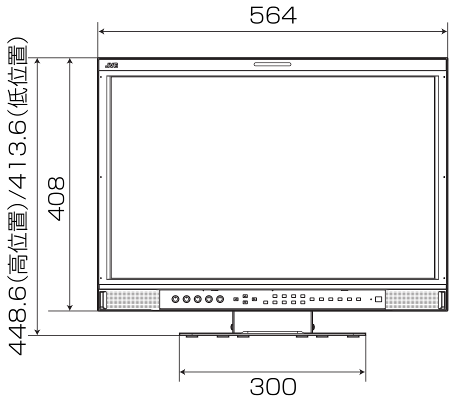
パソコンのモニター(DVI-D)出力端子と接続します。



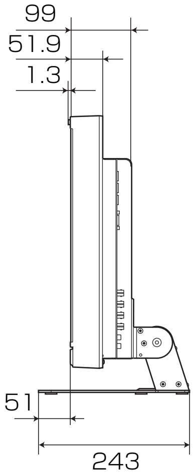
ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	T.M.D.S Data 2-	9	T.M.D.S Data 1-	17	T.M.D.S Data 0-
2	T.M.D.S Data 2+	10	T.M.D.S Data 1+	18	T.M.D.S Data 0+
3	T.M.D.S Data 2 shield	11	T.M.D.S Data 1 shield	19	T.M.D.S Data 0 shield
4	NC	12	NC	20	NC
5	NC	13	NC	21	NC
6	DDC Clock	14	+5 V Power	22	T.M.D.S Clock shield
7	DDC Data	15	GND	23	T.M.D.S Clock+
8	NC	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S Clock-

外形寸法図 (単位:mm)

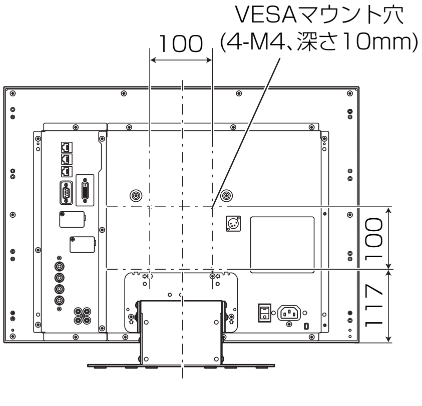
<正面>



<側面>



<背面>



MEMO

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、「困ったときは」(☞30ページ)に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口案内にご連絡ください。

■ 保証期間中は
修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

品　名	表紙参照
型　名	表紙参照
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電話番号	(　　　)　　　－
訪問後希望日	

■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　　　　　　　　　　　　(　　　)　　　－

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	➡	**ご使用を中　止**	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

ご不明な点や修理に関するご相談	全般的なご相談
修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。	**お客様ご相談センター** **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は 電話　(045) 450−8950 FAX　(045) 450−2275 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2011 Victor Company of Japan, Limited

0111SKH-MW-MT